音のコンビネーションプレー

2ウェイ・4スピーカー(12cmウーハー×2＋5cmツイーター×2)からあふれ出す、出力3.8W(EIAJ/DC)のステレオサウンドは、高音と中・低音のコンビネーションサウンド。

音が広がるステレオサウンド

ステレオ パディスコ5280 ¥44,800
TRK-5280

いい音はステレオで鳴らしたい

ステレオサウンドを支えるメカニズム

- より音の広がりを感じるステレオ(マトリックス)方式
- クリアな音を再生するITL・OTL回路
- FM放送が冴えるFMマルチ回路内蔵
- ラウドネス回路で音のバランスを自動補正
- FMワイドバンド(76～108MHz)帯採用
- (クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- 専用外部スピーカー(別売りAPS-80 2本セット¥11,800)接続可能
- FM/AM2バンドラジオつき
- 大きさ幅42.2×高さ23.3×奥行11.7(cm)
- 重さ4.7kg(乾電池含む)
- キャリングケース(別売りL-5280¥4,000)

★「日立カセットレコーダーの保証書」は、必ずお受けとりください。お買い上げの際に販売店名、ご購入の年月日が記入されているかをお確かめになり、大切に保存してください。
★カタログ請求は、〒105東京都港区西新橋2-35-6 第3松井ビル 日立家電販売株式会社宣伝部パディスコ係へ。
★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)503-2111

40周年記念功労者表彰

（写真説明）斉藤英四郎会長より記念トロフィーを授与される、田村正衛前会長

□…日本ハンドボール協会では、創立40周年を迎えるにあたり、長年に渡り協会発展のために尽力してこられた数多くの方々に対し、40周年記念行事の一つとして感謝状並びに表彰状を贈呈した。

○感謝状贈呈

▽日本協会…（顧問）

田村　正衛　殿・渡辺　和美　殿
浅野　均一　殿・河島　武四郎殿
鈴木　達雄　殿・川崎　秀二　殿
内藤　誉三郎殿・馬場　太郎　殿
平井　富三郎殿　協会…（参与）
常松　　喬　殿・岩野　次郎　殿
浜田　美明　殿・池上　金治　殿
外山　准二　殿・阿部　二郎　殿
植村　　肇　殿・森　松雄　殿
（以上17名　順不同）

▽報導関係

朝日新聞社殿　毎日新聞社殿　読売新聞社殿　産経新聞社殿　日刊スポーツ新聞社殿　報知新聞社殿　スポーツニッポン殿　共同通信社殿　時事通信社殿　日本放送協会殿　中日新聞社殿　名古屋テレビ殿　中京テレビ殿　中国新聞殿　福島民報社殿　福島テレビ殿　福島民友新聞社殿　福島中央テレビ殿　京都新聞社殿　神戸新聞社殿　熊本日日新聞社殿　神奈川新聞社殿　河北新報社殿　産経スポーツ殿
（以上23社　順不同）

▽業社関係

アシックス殿　兼松スポーツ用品殿　学術社殿　タチカラ殿　デサント殿　ミカド商会殿　明星ゴム工業殿　モルテンゴム工業殿
（以上8社）

▽日本リーグ参加各チーム

大阪イーグルス（村田弘）殿
大崎電気工業（渡辺和美）殿
三　景（清水正一）殿
三陽商会（吉原信之）殿
ジャスコ（岡田卓也）殿
大同特殊鋼（金谷正四郎）殿
大和銀行（池田一郎）殿
立石電機（立石孝雄）殿
東京重機工業（山岡憲一）殿
東北ムネカタ（宗方守敏）殿
日新製鋼呉（石田治男）殿
日本ビクター（垣木邦夫）殿
日立栃木（権守博）殿
プラザ工業（平田源一）殿
本田技研鈴鹿（小林隆幸）殿
三菱レイヨン大竹（和田昇）殿
湧永薬品（湧永儀助）殿
（以上17チーム）

○表彰状贈呈（都道府県別）

（北海道）…岡田豊夫殿　（青森）…鹿内一胤、太田尚光殿　（宮城）…山崎金夫殿　（福島）…松本清一殿　（東京）…岡村昭二、永井勝雄殿　（神奈川）…青木近衛殿　（千葉）…浮谷貞雄、宮本嗣殿　（山梨）…山田栄太郎殿　（静岡）…加藤源浩、鈴木城、青山秀、岩田忠雄、渋谷行康殿　（長野）…柳沢民弥、中沢正己殿　（富山）…角　勉殿　（三重）…佐野由子殿　（滋賀）…上野正二、守村新悦、渡部公夫、川本引一殿　（奈良）…（京都）…小西博喜殿　…久保田広次、土井善光、北西道明殿　（和歌山）…中井康彦、中西登志樹、能木進殿　（大阪）…山中善之祐、神田清殿　（兵庫）…岩崎国夫、三宅三治、花房保、坂木敏雄、小島正男、西沢倫雄、大原靖男、増田茂美、藤原豊殿　（広島）…丸口哲美、平田幸男、名黒英美、荒木武殿　（愛媛）…梶浦障一殿
（以上47名）

2月のカレンダー

1／30～4日　女子ナショナル第4次合宿（於プラザー工業体育館）
4日（土）　40年記念祝賀会（13時・体協内SC）
8日（水）　男子ナショナルチーム欧州遠征より帰国（羽田着16時55分　SK989便）
10日（金）～13日（月）　実業団トーナメント（笠間市民体育館・笠間高校）
18日（土）　土曜の集い（代々木青少年SC）
26日～3／5　女子ナショナル　第5次合宿（於立石電機…予定）
27日　関東学生選抜チーム羽田発17時JAL404便にて欧州へ

「ハンドボール」

53年2月号（第160号）目次

【表紙写真】
全日本総合選手権大会最終日、男子決勝戦
（大同特殊鋼　対　湧永薬品）
から。

スポーツイベント社
ハンドボール紙提供

祝 日本ハンドボール協会 創立40周年記念

── 40周年記念に思う ──

徳永副会長

四〇周年を迎えるに当って

日本ハンドボール協会
副会長　徳　永　陸　繁

ここに日本ハンドボール協会の創立四〇周年を迎えることはまことに慶ばしいことと存じます。

古いということは、その長い歩みの中に貴重な歴史が刻まれていることであり、ハンドボール協会が創立何周年と周期的に記念行事を行なうのも、いわばその歴史の節付けであると思います。これを契機として過去を振り返り、現在を直視して心構えを新たにし、次のステップへの飛躍を期するところに、その価値と意義があると思います。

ハンドボール協会もこの記念すべき時点において、関係各位により計画立案され、ご尽力を賜わりましたことに深甚の感謝を捧げる次第です。実に年月の流れの早やに驚くと共に、また振り返って見るといろいろと紆余曲折の茨の道でもあった試錬の期間が、今日の成果を見たものと、同慶にたえません。このようなスポーツに参加し得た関係の愛好者、また若い青少年の感激は言うまでもなく、大いなるものと思います。

現在、日本ハンドボール競技の発展は内外共に年々に飛躍的な前進を遂げ、アジア地区のリーダーとして常に世界を目指し、これまでの諸先輩達が献身的に努力しております。今、全国の各支部協会各種別団体の支援としての力こそ重大な使命をもっており、躍進への原動力と思います。

私達はこの時点に、四〇周年を機に常に自覚し将来に向って一層の躍進を期すると共に、日本ハンドボール協会の持つ使命達成に懸命の努力を続けねばなりません。このためにはより強固な団結と、絶えまざる研鑽が必要だと思います。このスポーツを愛する皆さんの一層のご協力をお願いすると共に、今日まで、日本ハンドボール協会の発展のために、ご指導とご協力を戴きました関係者各位に対しまして、厚くお礼申し上げますと共に一層のご助力をお願い致します。

全日本学生ハンドボール連盟
理事長　中　沢　重　夫

現在、学連の運営に携わっておる一員として、日本協会40周年を迎えてと考えるとやはり学連を見振り返りそれを通して物を考える方向に行ってしまうのもやむを得ない心情かもしれない。かつて日本協会20周年を迎えた折、当時の日本協会理事長であった高嶋冽前理事長が〝ハンドボール百年の計〟〝例えば他の我が国先駆スポーツの伝統に追いつくのに二年を一年で〟など強調しておった事を今強く思い出すのである。それは今日、幻のナショナルチームといわれておる初の世界選手権参加選手団（十一人制）の編成がさわがれた頃の事でもある。あれ以来20年を経て今日では、頂党として男、女世界選手権の参加は協会の大切な行事の一つとなり、さらにオリンピック参加はハンドボール界至上の希望ともなっておる、それだけに日本協会の規模も内容もその当時と比べ著しい飛躍をなしており、これを支えた関係者の20年の歳月の努力の積み重ねがこの結果を迎えたのである。しかしまだまだ各所に手のまわらぬ所が数多く見受けられ欲をいえば際限がないにしても、その欲を41年目からかかる事でなかろうか、それを果す第一はやはり関係者（経験者）作り、指導者作りが先決であろう。社会機構のあらゆる層への関係者が食い込まねばならない。それらが一致して局面の打開を計る、その為にも指導者をもっと必要であり、もっと養成しなければならない。それは実技指導者ばかりでは

ないのである。本を通し、講習会で又TVの解説等でも強く述べておる〝ハンドボールの良さ〟本当にその良さを社会から認められるにはやはり有能な関係者作り指導者作りが急務と思うし、全体にその厚さが欲しい。世界選手権やオリンピックに良い成績を上げる基盤として又その素材発掘の為にもぜひ必要の事でなかろうか、又ここで養われた指導者は意識的に働く場をも作り出してやる必要があろう。近年中学校や高校にハンドボールの普及と共に社会情勢がかわり大学への進学率が伸びた事によって数多くのハンドボールマンが大学に進みハンドボール部に在籍する様になった。誠に喜ばしい事である。しかし一方、一部有力なハンドボール部を除いてほとんどが学生の自主運営に任せられており、それはそれなりの評価が出来ても、20年このかた旧態依然の姿である事も又事実である。しかも指導者作りの温床であるべき体育系大学の一部にもそれが見られ（勿論善意の学外OBの力によって支えられておると思うが）せっかくチームや選手層が増え厚くなり、素材が増しておるにもかかわらず適切な指導がなされていないのでないかと思うといかんとも残念な事である。この点日本協会を始め関係の方々の協力を御早急に適切な方法を考えられぬものかと思うのである。勿論体育系大学以外の大学にも手を加え社会のあらゆる層に関係者がばらまかれる事によってその形態は確かなる姿となるものと考える。かつて他のスポーツ界も、ハンドボール界もそうであったように、学生がその界の中刻として大きな役割を果して来た世代があった。その後我が国のスポーツの世界は実業団チームが大きくのびて華やかな先陣を争っておるのである。それはそれなりに大切な事で競技の華やかさはぜひ必要なものであると共に、それを支える潜在的戦力は学生の中にそして高校や中学生の中にある事忘れずに、それらが互に協力しあい連繋しあって大切に育てあげる事を使命とし、それを推進する指導者作り、養う場としての環境作りのいかんがこれからの皆の夢をかなえる大切な事であると思うのである。

全国高体連副部長
嶋田　新太郎

日本ハンドボール協会創立四十周年を迎え我々関係者として本当に嬉しいことである。

同時に日本ハンドボール界が今後どのような方針で対外的対内的に取組んでいくか課題は山積みしている現状である。

わが高体連ハンドボール部関係者にも勿論その一端はあるし、支えて来たのも高体連だと思う。

全国高体連ハンドボール部も昭和五十三年を迎えて二十九年となり来年度は三十周年目を兵庫県神戸市で盛大な式典をと只今計画中である。

これだけ発展できたのも全国各地で活躍をしておられる高等学校の先生方が高校生諸君と汗にまみれ叱汰激励、共に笑い、共に泣きそして毎年送りだす先輩達の進路にも心を砕き、新入生を又先輩達に劣らないチームに育てるよう日夜懸命な努力を続けている同志諸君の結集が高体連であろう。

今ここに日本ハンドボール協会が四十周年を迎えるに当っても、この日本ハンドボールの底辺にはこのように一途にハンドボールを愛し、ハンドボールに生きている人達がいることを心にとめ、大事に物事を進めてほしいと思う。

世界選手権大会、オリンピック大会とトップレベルの問題は別として、高校生に夢を持たせてほしい。それも「でっかい」夢を。

日本協会に要望するとすれば、それは世界ジュニア選手権大会出場である。

他協会がこうしているからと、いつまでも日寄り見的な考え方では進歩はない。

思い切った施策と方針が肝要である。

私達はうぬぼれでいっているのではない。今まで対外的なものといえば日韓戦ぐらいである。

若し許されるならばこの問題を検討してみたい。

いづれにしてもお互い自分の立場を強調することより、各々の分野を再検討して原点に立戻ることが必要でなかろうか。

それと今一つの問題は対マスコミであろう。

各大会のスケジュールの再検討でハンドボール競技のよさを十分発揮でき、理解してもらえる努力が何よりも急務である。

近代スポーツとして又ハンドボールを愛好している全国の皆さんの願望ではなかろうか。

以上とりとめのないことを書きましたが、高体連ハンドボール部としては今後の努力は惜しみませんし、更に協会が発展されんことを祈ってやまないものです。

企画委員会の設置を

愛知県実業団連盟
会長　田中　滋章

日本ハンドボール協会理事長いや会長直轄に企画委員会（現在のものと異質なもの）を設けたらどうだろうか。今のハンドボール界を見ていると、あまりにも先の見通しがない。

12月に入った現時点で、明年の全日本大会の日程すら決っていな

5頁へつづく

い状態では、とてもブロック大会・都道府県大会・そして地区を大会の明年度日程をつめるところまで行けない。早いところでは12月には体育館の明年度日程が決ってしまう。このように翌年度の日程を決定する手順すら決っていないのだから、とても3年先・5年先の見通しが立つはずがない。

国際試合にしてもしかり。先のスケジュールがほぼ決れば、呼べる時期というのは自然に決ってしまうわけだから、日本のペースである程度計画できるハズである。

日韓交流にしても、もう2〜3年前から曲り角に来ていると言われていながら、慢然と続けている感じであり、この先どのように変えてゆくのか見当もついていない

斯界の問題点はスケジュール面だけでなく、この他機関誌の〝明日への提言〟などに沢山挙げられているように、本当にキリがないくらい多い。しかし、いつも掲載されるだけで、返答もない上にアクションも起ったためしがない。国体から日本リーグ勢をはずせとか、全日本クラブ大会をどうすべきかなど。こういったことは勿論それぞれの部で検討されているとは思うが、企画委員会で素案を発表し、賛否その他の意見を集めるべきではないか。

ただ私のいう企画委員会とは、前記でいう運営面だけのつもりはない。大きな目で見て日本のハンドボールとはどうあるべきか（プレーを変えるために例えばソ連国内で採用されている45秒ルール、バスケットにあるファウル数によるペナルティ、一度試みたことのある作戦タイムなどの採用について）ということから、各部会の在り方、細かく言えば審判、技術などの資格付与の問題に至るまで、ハンドボールマンから出された意見はどんな場合でも一応企画委員会の議題に載せ、検討結果を報告するなり、審議を煮つめるものならば専問部に検依討を頼するなりして、早急に解決してゆくべきだと考える。

今までは各部担当者があまりにも身近かなことばかりで手一杯の感がある。若い頃実際にプレーをして来た先輩たちも数多くなってきたので、この辺りであまり現場にタッチしていないような有識者を3〜4名で充分と思われるのでぜひ選んで企画委員会を発足してもらいたい。

これが発足すれば直ちに問題は山と積まれるだろう。また従来言ったって仕様がないと、何も言わなかった人からも貴重な意見をいただけるものと思う。これらの問題を着実に、ひとつづつでも解決していってこそ、斯界の発展につながるものと確信する。

もしこの提案を入れられなくて企画委員会なるものが発足できなくても、ぜひこの私の意志だけはどこかで生かされるよう望んでいます。

協会40周年記念号に苦言を呈し恐縮ですが、より一層の発展を希い、あえて提言させていただきました。

四十周年に望む

北海道ハンドボール協会
理事長　石切山　稔治

創立四十周年をむかえた日本ハンドボール協会も過去に種々の問題があったが、なんとか乗り越えて来れたのも現在の協会首脳の力と思います。想えばオリンピックの種目に入りオリンピック出場の為に、世界選手権のアジア予選、オリンピックのアジア予選等と幾多の困難を乗り越えた事が、例えば戦体制のイスラエルに行っての対戦、また、オリンピック本大会寸前の三陸代表戦等と話題ははらはらする様な事が多かったが、オリンピック出場種目となった。だがはたして日の丸を揚げる事が出来るのであろうか。？　日本体協ではメタル候補種目には金を出すが、参加することに意義を感じているだけの種目には金は出さないから自費で参加して欲しいとの意見も出ているとの噂さえ耳にする昨今である。元来日本人は強い者に憧れる傾向がある。国民に人気のあるスポーツをみると、オリンピック、世界選手権に大活躍をしてから人気が出たとしか考えられない面があると思われる。その種目が他のスポーツと比べて普及活動が盛んであったとも思われず、只オリンピックで日の丸が掲った世界の桧舞台で好ゲームを転回した等が国民に好印象を与えてマスコミが取り上げたとか考えられないむきもある。只我々のハンドボールと異る点はナショナルチームの編成である。特にバレーボール等は長期展望に立ってプロジェクトチームのコーチ陣を作り、日本が作った特別技術で世界を圧倒している。

世界のチームは日本と対戦し、その次の年日本の技術を身につけ日本と対戦。世界の目標が日本となっている。ところがハンドボールをみてみると、まったく逆だ。ヨーロッパの技術の後を追いかけている感じさえある。ヨーロッパに行って来た者が〝こんなプレーをやっている〟〝こんな動きをしている〟と言って猿真似をする、他はそんなものかとその練習をする。

これではヨーロッパを追い越すことは出来ない。こうしてマイナースポーツに低迷してばかりはいられない。モスクワのオリンピックは断念をしても良いから、むこう10年程先をみた長期展望に立っ

たプロジェクトチームの編成が必要な時が来ていると思う。長身でなければ勝てないのならそれに対する対策をねり、器用な日本人でなければ出来ないプレーを開発し世界の桧舞台で日の丸の揚げれるチームを作って欲しい。『協会首脳は決断する時である。』

三人寄れば文珠の知恵ではないが、それ事業団だ、日本リーグだ、○○大出身だ、それＩＨＦの理事だ等の悶着は捨てて、我々ハンドボール愛好者が一団となって、明日にむかおうではないか。四十周年を迎えて希望の一端を述べさせて頂きました。

ハンドボールの今後

大西武三

ハンドボール競技の発展について種々論議されているが、私は発展の核は、ハンドボール競技そのものにもっとレベルの高い独自の内容を持つことであると考えている。競技の周辺の整備も大切であるが、何よりも大切なのは、競技そのものに万人の心を揺さぶるすばらしさを持つことである。

昭和35年に全芝浦工大とルーマニアが、日本で戦ったゲームのフィルムを見たことがある。勿論11人制で屋外のゲームである。このゲームは、芝浦が一点差で負けはしたもののハンドボール競技のもつおもしろさを十分に引き出し、また、日本人としての特長をいかんなく発揮しての戦いであった。大観衆は白熱した勝負とゲームのおもしろさに酔い心から拍手を送っている。もう17年前のことである。現在は7人制に一本化されているとは言え11人制を土台に発展してきていることは確かである。その頃からみれば、普及発展もし国際経験も豊かになっている。当時から現在を推察すれば、相当のゲーム内容を期待できるはずである。しかし、現状のハンドボールを見慣れた我々にとって、17年前のしかも11人制のゲームを見て、非常に新鮮な魅力を感じるのはどうしたことであろうか。広いコートを全力で走り回るオフェンス。腰をしっかりと落ち着け、見事なフットワークで相手の動きを封じるディフェンス。ここには、基本に則った非常に完成度の高い個人技とチームプレーの原点を見る思いがする。世界位のルーマニアに全てにひけをとっていない。体力差は相当あるが、それを補うに足る力を十分に発揮している。今の7人制に見られる派手さや小手先の器用さはないが、スポーツに最も求められる力強さと醍醐味がある。こういったゲームを見た当時の人々は、十分にハンドボールを堪能したに違いない。また、初めてこのゲームを見た人は、きっとハンドボールのすばらしさに感動し虚になったに違いない。当時より17年間の経過とともに人々は見る目を養いハンドボール競技も発展してきた。しかしどうであろうか。人々の肥えた目をもってしてまだまだ感動させ得るゲームを行なっているであろうか。勝負のおもしろさこそあれ、競技のもつおもしろさを十分に引き出していないのではないだろうか。そうでないとすれば、関係者のみでなくもっともっとゲームを楽しみに来る人がふえていてもよいのではないだろうか。今だに関係者のみの大会を脱することができないのは、競技そのものに見るだけの価値がないからではないだろうか。勝負の世界は、人間の可能性を引き出す世界である。勝つための努力をすれば、必然的に新しい技、戦術がでてくるものである。その新しさがあるがゆえに人の心をとらえて離さないものが生まれてくる。多くの人々の努力によって一歩一歩前進はしているもののまだまだ万人の心をとらえる競技となっていないところに我々は謙虚に反省し努力する必要があるのではなかろうかと思う。

よくハンドボールをやっている人に入門の動機を尋ねることがあるが、どうも競技そのものの魅力にとりつかれ始めたという人は少ないようである。「ハンドボールだったらやれるのでは」とか「先生にすすめられて」とかが多いようである。これでは、誇り高きスポーツでもなく、また先生がいなければ、人口がふえないということにもなりかねない。ハンドボールのもつすばらしさに感動して、それが動機となってハンドボールを始める人が増えることが、最も強き発展の道となるように思うのである。そういう意味で日本のハンドボールはもっともっと強くなっていただきたいし、国内的には我々ももっともっと努力をして価値の高いハンドボールを作り上げる必要がある。（協会技術委員）

四十周年を迎えた日本ハンドボール協会は今後何をなすべきか

千葉県ハンドボール協会
理事長　本間誠章

初めに日本ハンドボール協会が四十周年を迎えた事に対し千葉県ハンドボール協会を代表いたしまして心より御祝い申し上げます。

日本のハンドボールも今では世界の一流国と同等に歩むべく発展するにいたった事は、この長い年月の間、日々努力下さいました諸先輩並びに関係者各位の御尽力の賜物とこの紙上をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。我々千葉県ハンドボール協会も皆様の御指導御鞭撻のおかげをもちましてどうやら近年歩み出したばかりでありますが、チーム数も増え

一応の態勢を整えるまでにいたりましたことを感謝申し上げます。とはいえ、県内においても一部分の地域に集まっておる状態です。
これは全国においても同じ事が言えるのではないかと思われますが、我々といたしましても県下全域に広めるべく努力いたしておるしだいです。これにはまずすべての人々にハンドボールというものを知っていただく事が大切でありその為には名のある世界の大会に入賞する事が最も近道でもあると考えます。その点からナショナルチームの強化及びその技術の研究に日夜努力されていることに感謝いたしております。
しかし、一方では日本人に適した楽しいハンドボールの研究、日本人の体格に適し、また、家庭的な誰にでも出来るハンドボールの研究も必要ではないかと思われます。今では全国の学校にハンドボールのゴールポストは設置してあると思われますがこれらのゴールポストが毎日使用されている所はまだまだ少ない様です。これらのものが一日も早く楽しく使用される日が来るよう研究努力したいものです。
一方全国的に種々の大会が行なわれており日本協会としての運営も大変な事と思われますが現在ある各種別をなくし全国一本化したチームの参加が出来る大会を年一度計画出来ないものでしょうか。種別の区別なく県予選からブロック大会を、そして全国大会が出来るならば一般地方のチームのはげみにもなります。また、最近話題になっている国体出場チームと日本リーグ参加チームとの関係ですが、国体にはリーグ参加チームの出場はしない方が良いと考えます我々は日本リーグは国内最高のチームの組織であり一般チームの技術研究と普及活動に最高の組織であると考えております。これが一般参加の国体に同じく参加したのでは一般チームの楽しみがなく、また、国体の意義にも反するのではないかと考える者です。
最後に諸先輩並びに関係者各位の今後増々御健勝にして御発展下さいますと共に、今後共御指導下さいます事をお願い申し上げます

神奈川県ハンドボール協会
常任理事　泉　正明

日本ハンドボール協会の創立40周年おめでとうございます。
これを人生にたとえるなら、協会も不惑の年令に達したことになり、これからは新会長の下、壮年期にふさわしいたくましい発展を大いに期待したいというのが、全ハンドボール人の念願かと思います。
さて、その祝賀すべき機会に当って、何か協会に対して注文をつけ、よいご依頼を受けたわけですが、どうも弱りました。でも、あえて、ここまで協会を育ててこられた諸先輩の驥尾に付して「独断と偏見に満ちた」感想を述べさせていただきます。
ところで、日本協会が今日のような強固であり、かつ充実した組織となるまでには、数多い方々の労苦があったかと思います。それに対し満腔の敬意を払うにやぶさかではありませんが、少しがっちりし過ぎたのではないかというのが、小生の最初の独断です。
このような言辞を吐きますと、お前は一体何を言うのか、こうなるようにわれわれは努力してきたのであって、協会の基礎固めはまだまだこれからだと、きついお叱りを受けるに違いありません。
確かに、全国に拡がる組織、それに加えての上部団体、さらには国際的な機構とのつながり、それらを円滑に維持するために、制度としての組織原則が強力に働かざるを得ないことはよく解ります。しかし、それを必要悪だといって割り切る気持にはどうしてもなれないのです。
協会も創立間もないころは決してこうではなかったことでしょうもっと自分たちのための協会、そういう意識が強く働いていたに違いありません。「日本協会ってなあに」と若い人たちが言わないように、また加盟金がゴルフクラブの会員権と同一視されないように、日本協会は組織としての運営よりも、理念を掲げた団体としてもっとハンドボール人に訴えかける存在であって欲しいのです。
次に、第二の偏見へと移るわけですが、それは、40年という歴史に関係するものです。
この40年の時の経過の重さについては、ここで云々いたしませんが、当事者にとって逆に意識に上ることのない不可思議なものだということです。人は自分は変らず時だけが流れていくとしか感じていない。しかし、時はその人をも含めて確実に流れてゆきます。
どうも安物のフォークソングの歌の文句のようで恐縮ですが、有体に言うと、自分は若いつもりでいても、人は次第に年をとり、20年前の若者も今のヤング連から見れば老人となっているということです。
とすれば、年長者は若い人に席を譲るのが自然の摂理というものでありましょう。それでこそ組織というものは、活力を持ち続けるのであって、日本協会はじめ加盟協会にまで当てはまることですが協会が大相撲の年寄制度であってはならないと思うのです。
若い人は育っているものだし、もし育っていないとしたら、それ

9頁へつづく

Create Your New World with ACCORD

ACCORDとは「調和」「一致」です。
機能重視、人間尊重、そして環境保持。
こうしたテーマを高い次元で調和させました。
多用途・多目的に余裕をもって活用できる機能と
乗る人の心情に深くマッチした
快適さの実現です。
大人の感覚で磨きあげた車。
あなた自身の新しい世界を創造する車。
それがホンダ・アコードです。

ゆとりと調和のアダルト・カー

ACCORD®
CVCC

型式B-SJ・全長4.125m(EX・LX・GL)・全幅1.620m・全高1.340m・軸距2.380m・輪距　前1.400m後1.390m・CVCC水冷4サイクル直列4気筒OHC・総排気量1,599cc・最高出力80ps/5,300rpm・最大トルク12.3kg-m/3,000rpm・燃費21km/ℓ(5速ミッション車60km/h定地走行テスト値)・10モード燃費10.5km/ℓ(運輸省審査値)・四輪ストラット方式独立懸架●51年排出ガス規制適合車。

HONDA®
●シートベルトを締めましょう

本田技研工業㈱鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎<0593>78-1212 〒513

は先輩の責任です。とにかく機会を与えること。指導者にとって課せられた最大の責務は後継者を育てることというではありませんか
しかし、古手にも古手なりの重みと効用がありとすれば、いかがでしょうか。常務理事以上の三選辞退を全国の組織で申し合わせれば、そして、一期休んでの再選は認めることとします。
こうすれば、次代を担う人たちも運営の責任者としての考え方を常に養え、重任を負っている方たちも休養期間中に違った立場からものを考えることができます。
常にフレッシュに、組織を保てれば、ハンドボール協会もフレキシブルに、40年の年輪の上に一層輝やかしく、より大きい年輪を加えることができるのではないでしょうか。

指導者の奮起を願う

静岡県ハンドボール協会
理事長　片瀬喜代次

日本ハンドボール協会が、創立四〇周年を迎えた、人間でいえば不惑と称して、惑わず自信をもって、生きてゆく年代になったということになります。
これまでの日本ハンドボール界は、幾多のう余曲折があったにせよ、ミュンヘン・オリンピックに参加し、モントリオール・オリンピックには男、女が出場し、世界選手権にもアジアを代表して男、女とも毎回参加している。そして日本リーグも開催した。また一方国民体育大会には47都道府県が参加できるようになった。クラブチームも全国大会らしきものが開催できた、小学生の全国交換会も開催している、JHAレフェリー講習会も開催し、ハンドボール新聞も発行されるようになった。
とに角選手強化も、底辺普及も考えられることは実施してきた。これに携わった関係者は、大変な困難を克服しながらも、これだけやれたという事は、関係者に若いエネルギーがあったからだと思います。
しかし他の競技団体がやれない事までやっていながら、どうして人気がないだろうか、ラグビーの学生選手権など、三万人以上の観衆が集まってくる。あの観衆の中に実際にラグビーをやった経験者が幾人いるだろうか。サッカー、バレー、バスケットのテレビを見ていつも同じことを考えてしまいます。ハンドボールは、P、Rがたりないといわれるが、たしかにマスコミが取り上げる率が少い、それだけ関係者の努力がたりないと思うことがあるが、それだけではないと思います。
いままでの日本のハンドボールのゲームは、スピードとスリルがあって、見ていて楽しいゲームが少いのではないだろうか。全日本総合、日本リーグでも、すばらしいゲームは、ほんのわずかで、試合の前から勝負の決っているゲームがあまりにも多く、見ていておもしろくありません。
関東学生リーグを見学に行くのですが、勝負成績が混戦の割に、見ごたえのあるゲームが少ない。なぜかと考えるに、指導者がおらず、学生達だけで練習をして、監督は試合の時だけ顔を出すチームが多いと聞いております。これでは強くはなりません。
日本リーグでも、女子チームには熱心な指導者がおるが、男子にはあまりおらないのではないか。入場料を取てっ見せるには、選手一人、一人がトレーニングに励みよりスピードとスリルに富んだゲームができるよう懸命に努力してもらいたい、それには指導者が本気になって頑張らなくしては、日本のハンドボールは、普及も発展は望めません。
日本ハンドボール協会も、選手強化、普及、審判そしてP、Rとしっかり大地に根をすえて、その場しのぎの計画ではなく、5年、10年の先を考えて自信をもった、運営をして欲しいと思います。それには若い指導者を企画運営に参加させ、多くの意見を聞くこと、そのことにより若い地方の指導者は、日本ハンドボール界の為ならばと奮起することと思います。
最後に、現在欧州に遠征している、第9回世界選手権に出場する全日本男子ナショナルチームが、是非予選リーグを突破し、準決勝リーグに進出して、モスクワ、オリンピック出場の、切符を手にすることを心よりお祈りします。このことによりマスコミは大いにハンドボールを取り上げてくれると確信します。
日本ハンドボール協会創立四〇周年記念を衷心よりお祝い申し上げます。

将来の日本協会の姿

長野県ハンドボール協会
常任理事　望月　豊

スポーツ界も多角的運営が望まれている現在JOCはオリンピックは参加するのみが目的ではなく競技力の国際水準に達した今となっては必勝主義をうたいあげている。われわれ現場指導者と体協では裏腹の感が無くもない。今の若人のスポーツのレクリェション化は学校体育クラブの衰退化にはくしゃをかけ技能開発をいやがり混乱させている。各地で国体参加制限問題があがっている現在のハンドボール界も四十年の歩みを今考えるとどうやら大人の世界にたどりついた感をいだくのである。十一人制のグランド一杯にはね廻る競技から一変して七人制のせま

い競技場での変化技はバスケットボール競技をぬきんでるスピード感充分のまたシュート体制の変化技への変りようはまさに新生競技ともいえるだろう。バレーボールの九人制から六人制への変りと同様な事がいえるのではないだろうか、バレー協会の歴史の古さは低辺拡大から頂点強化へと最間がかかっている。我々のハンドボール協会にあっては七人制になってから実業団チームの結成を見、全国各地の高校大学チームの増加となった事を考えてみるとようやく大人の協会になった感もいだくのである。世界選手権、オリンピック大会出場とひのき舞台にて心技体共に国際レベルアップを吸収している今日本リーグの各地での転戦や国体での活躍は各地方の愛好者プレーヤーに対して好影響をあたえていると思うのである。しかしこれは中間人即ち高校大学生のみを対象にしているにすぎないのみであるが、次回オリンピックを境にして中学生への開拓をいそがねばならないと思うのである。また自然に目も心も動くことであろうと思う。体育教材にのっているからのと甘えていたんではスポーツのレクリエーション化の波にのって他の競技に走る若人の多いことをわすれずに開拓が必要と思うのである。そういう意味においても各地での（国体も同じ）高度の試合の展開は我々ハンドボール界にあってはいまだに大切ではないだろうか、協会組織も国際部と国体部の二部制に区分していく日も近ずくのではないだろうか、ナショナルチームのひのき舞台での活躍を祈りつつそれがまた若人のあこがれの的となり、低辺拡張のど台でもあろう

40周年を迎えた 日本ハンドボール協会に望む

岐阜県ハンドボール協会
理事長　岡田　重博

ハンドボール界発展の目ざましさは、今更述べるまでもなく、先輩の方々の御苦労に敬意を表します。

創生期理事長自ら、全国各地を巡回し、講習・講演をされた記録大会毎に地方に出向き、未開拓の地にハンドボール競技の妙技と、協会の権威を拡め、且つ皆無に等しい協会財源の中で、日本のハンドボール界を海外の舞台に紹介された前理事長の業績など、……協会形成過程上、とき宜ろしきを得た運営者の施策の妙にあったことを痛感します。

現理事長になって10年、全国すべての府県に支部組織として協会が確立し、学連、高体連、実連など、専門部的機能団体の位置づけがなされ、協会構成者の基本的な考えを統一されました。

また、運営上任務担当者組織化し、文章化され、特に会計収支の明朗化は日本協会と地方協会の相互関係を密接にし、構成組織を強固なものにする上で、大きな業績であったと考えています。

地方協会運営の任に当る私達は日本協会の理事長に代表される執行部の構成組織の考え方、予算に示される運営意図を知ることは、地方協会の目標と具体策を立てるに当って渇望している事項です。

さて、私達が現在日本協会に望むものは、第一に運営の責任者である理事長は（会長は会の代表者であり運営の責任者ではない）、総合的な長期の展望、構想を明確にし、その目標達成のための、短期の実施計画を示して頂きたい。

一例をあげれば、協会の財政についてどのような長期構想を持っているのか、その目的のため現在どんな計画的努力がなされているのかを明らかにされないで、選手強化のために千五百万円必要だ（52年補正予算、総額の1/3）といわれても、多数の会員に理解を得ることは困難であります。

この状態が最近続く現在、地方で黙々と底辺活動に奉仕している無名の指導者から、日本協会の日は、国外や、オリンピックの選手役員のみに向けられて、国内に向いていない云々……と云った失望の言葉が聞かれる原因だと考えます。

年度頭初、機関誌掲載の理事長談話が、総括的で地方に過大な期待を抱かせるものでなく、その年度に対処する具体策を示していただき、現在のハンドボール界発展普及の原動力になっている底辺活動指導者に、失望感を与えない説得を願っています。

第二は、協会構成組織の二重構造性を、運営の妙で打破されたい協会は、企業体のように単一目標と指揮系統を持った組織体ではなく、府県協会は下部組織といっても、夫々、会長を持ち、会員に選出された理事長により運営される独自の組織体である(加盟団体)。

特に、48年改正の協会規約からは代議員制度が導入され、地方にとって日本協会理事長は、直接選任の関係はなくなっている。

執行部を構成する理事の過半はブロック代表、専門部団体選出者であり、チームや個人会員の意志を伝達する機能を充分果たし得ずむしろ利益代表の立場の発言が多くなっていると聞いています。殊に最近府県協会の意見はブロック理事を通し、また、日本協会の意図がブロック理事を通して伝達される風潮が強まれば、屋上に屋を重ねた組織が、更に中間に屋を作る三重構造となり、理事長が会員の意志を集約するのが困難になるばかりか、地方から見れば理事長をますます遠い雲の上の存在にす

ることになる。
このような関係が長く続くと、日本協会の構成者意識を会員に失なわせて行く結果になることを、恐れます。

第三は、任務上の責任の所在を明確にして地方協会に範を示していただきたい。

協会組織は、同好者による協議体であり、責任者といっても無報酬の奉仕者である。しかし、一面多数会員の意を受けた多額の金銭収支を基にした運営執行者である

ハンドボール界のみでなく、今日のスポーツ界全体が、会員の構成も、その意図も、まことに多種多様なものになってきました。

協会運営上、計画一つの立案に対しても、協会の実体をどのように評価するか、会員の要求をどのように価値判断し、またその現実の社会の中での展望をどう認識するかにより、異論の多いのは当然である。

ハンドボール界共通の体質として、陥り勝ちな学校（教師）の世界の発想（上↓上・中央↓地方・指導↓生徒）のみでなく、他の競技団体の展開を参考にして、理事長が、夫々の任務分担を任せ切れる適材を集められ、任期内の目標を設定した上大胆に指導性を発揮していただきたい。

単刀直入の言葉で恐縮ですが、目的に到達出来なければ任務に対して適任者ではなく、目標設定や人選に失敗の因があれば、理事長が責められるべきは、組織体として当然なことである。

協議体である協会運営の任務と責任のモラルを確立し、規模は小さくても同様の立場にある地方組織の指導者に、その在り方を教えていただきたい。

終りに、地方では、ハンドボールゴッコ（遊び）の少年、ママさんから、日本選手権を目指す選手まで、その心意気は、言葉は10人十色でも、等しく日本ハンドボール協会の力強い指導性を願っての発言です。

私は、この意見や提言が多ければ多い程、ハンドボール発展のための、エネルギーの括発さだと受けとめ、敢えて、大言壮語の希望を申し上げました。

地方協会の課題と日本協会へのお願い

福井県ハンドボール協会
強化部担当理事　塚崎則男

日本ハンドボール協会も四十周年を迎えられ諸先生・先輩達の築き上げて下さったことにいまさらながら有難く感謝しております。特に、他の種目にないファミリー的なムードは、独得のものがあり、日本協会のお陰であると考えます。

わが福井県協会は、昭和42年の全日本総合・43年の福井国体・48年の実業団トーナメントと三つの全国クラスの大会運営のみにとどまりまったく残念に思います。

国体の前は、強化の面で村田弘先生・東嘉伸先生の第一線での御指導お受け感銘をうけたものでした。また、他の協会との交流も静岡・愛知・富山には、特に御世話になり、やはり大きな大会の地元での運営は、いろいろな意味で、発展させてくれる良薬であったと考えております。

わが県は、教員チームを、軸に今日に至っておりますが、活躍した選手も三十才を過ぎ、各地の大会に参加させていただいて得たものをこれからは、少しでも発展させていくべく高校の部の強化、クラブチームの育成、大きな大会の招へいと課題はつきません。高校の部においても小松市女・永見高と立流なチームが近くに存在し、福井県もできぬはずがないと……

今後更に次の三つの点に問題を絞り、すすめていくつもりでおります。

◎県外に出て多いに胸を借り、いろんなことを、吸収する。
◎全国のトップレベルの試合の招へい
◎全国に通用する大型選手のスカウト、以上三点に絞り、階段を踏みだそうとしております。

次に日本協会へのお願いですが先程の地方協会の問題点をふまえ
◎日本協会と地方協会とのきめ細い指導を含め、交流を更に盛んにしていただきたい。
◎大きな大会を、主要都市のみならず地方協会にも誘致してほしい
◎外国のトップレベルのチームの日本の紹へい。

以上ですが、何としても、オリンピックでのメダル獲得が、究極的な願望です。竹野監督・東コーチならびに選手諸君の更に一層の御活躍を、御祈りし、終りとします。

滋賀県ハンドボール協会
副会長　尾本　和男

年頭にあたり、日本協会40周年を祝うとともに今後の発展をお祈りいたします。

去る昭和45年インタハイの時には、競技や運営についてよく夢をみ、次から次へと走馬燈のように頭上をかけめぐりました。この春の終戦記念日には、久しぶりにハンドボールの夢を見ました。それは、地元の小学生が、父母の見守る中で学区対抗のようなもので、楽しそうに大声を張りあげ汗を流していたようでした。

これは、日頃から考えていたことでもあり、機関誌(159)「フリースロー」で「全国いたるところにゴールポストを」の説に感銘していたからだと思います。

■正夢かと、早速く出向き、校舎の片隅に目的のものを一対見つけた。始業前に近くで遊んでいた二人の生徒に「これなにするもの」と声をかけると、一人は「これゴールや」、もう一人は「ミニサッカーするの」と答えてくれたのでもう一度見直すと、所ろどころベンキが剝げ、錆びているが赤白のハンドのゴールである。しばし見詰めていたが悲しくなった。これがハンドボール界の縮図であるのではないか。「仏つくって魂い入れず」にならないよう努め、ハンドボールをしてよかった。やっておいてよかったと云える協会になる条件整備をしなければならない

それには、——

1. 中学校学習指導要領における位置づけである。

昭和26年改訂では、球技のろう球型(バスケ・ハンド)があげられ、昭和33年は、削除され、昭和44年は、球技(バスケ・バレー・サッカー)とし、内容取り扱い(7)で、バスケとハンドについては、いずれか一つを選んで指導すること。今回の改訂では、バスケに代えハンドを指導することができるものとすると後退している。

これには、関係者の啓蒙運動もさることながら、一人一人の奮起が望まれる。

2. 国民体育大会の民主化。

先ず国体選手・監督の出場回数(3回程度)制限して、国体屋を作らない。また、国体改善委員会(仮)を設け、専門化された開催県の代表者を含めたもので構成し、民主化がはかられるよう努める。

3. 国体・インタハイ開催県への普及・指導体制の強化。

普及指導費の活用と審判地方研修会の開催などによる組織強化および選手育成の指導助言に努める

4.日本協会の法人化。

財団法人日本協会寄付行為(基本金)による組織化を目指し、さらに信用のある団体となるよう努める。

5. 電波による普及・開発。

申すまでもなく、テレビ・ラジオの影響は想像以上なものがある少くとも、全日本総合・リーグにスポンサーをみつけ中継または放送されるよう努める。

協会の飛躍的な発展を期待します。なお、昭和56年度の本県開催の時には皆様のご支援とご協力をお願いします。

奈良県ハンドボール協会
会長　森田　正英

五十二年度は日本ハンドボール協会創立四十周年にあたり、式典表彰等々の行事があり、誠に意義深い年であった。創立以来協会を支え今日の発展にまで尽力して下さった方々に感謝の気持で一杯である。然し若い人々がそれ程意義を感じたかについては多少の疑義を感じる。だが、それはそれでよいのではないか、若い人は現在に生き、先を見ることに懸命であり後を振りかえろうとはしない。

私の関係する奈良県ハンドボール協会も五十三年で三十年を迎えるわけだが、私はこの間、理事長副会長、会長としてやって来た。それ故日本協会の方へも評議員、理事、代議員として約三十年間関係して来たが、ここ数年前まで常に思ったことは、役員が直接間接に常に自分のチームを心の奥に持ちながらの発言が多かったように思う。これでは真の協会運営は出来ないと思った。現役が役員もしなければならぬ組織の弱さがあったのではないか、プレイヤーの中から審判員を出さねばならない状態もつづいた。(その議会ではない)

それ故教員の試合が一番問題を起したように思う。団体も全府県からの参加は今年が初めてであった。四十年を迎えた今日、この欠点が大いに除かれたように思う。

昭和二十三年私は奈良で一つのチームを作った。それが今では小県の奈良でも五十数チームがあるそれぞれのチーム員は自分のことしか考えない。チーム数の多少にかかわらずチーム員の考え方は殆んど変らない。私はそれが自然だと思う。中学から、高校から、大学からとハンドボールに関係した時期に差はあっても、その中に自分の人生を見出していることだと思う。ある人は身体の鍛練に、ある人は人との交りに、ある人は心の練成に、ある人は試合でのかけ引きに、それぞれハンドボールを為したことがその人の人生の中に生きていることだと思う。

ハンドボールを生活の糧にしている人はいない。但し生活の中に生かしていることは事実である。今四十周年を迎え、過去を振りかえるだけでなく、これからの人がより多くハンドボールを為し、其処に人生を見出す人を多く作るかが問題である。そのために協会としてより幅広い組織を確立することが今日の課題ではないだろうか

オリンピックに強い選手を送るもよし、中学からチーム数を多くするもよし、但しプレイヤーは現役中心、役員も現役員中心主義的な考えではなく、それ以上にOBを協会として関連づける方策を立てたいものである。そしてより広い輪で発展したいものである。

お願い
当権関誌に対する皆様方の御意見をお寄せ下さい。
編集委員会より

協会は綿密なる計画のもと意欲を燃し全員の結束により努力をおしむな　〃祝40周年〃

大阪ハンドボール協会
理事長　村田　弘

10年前に30周年、10年後に50周年と協会の歴史は時が刻みこむ、いうなれば何周年というものは待っておればかならずやってくる。ハンドボール競技に於て勝利というものは時が刻んでくれない、すなわち待っていても勝利は握れるものでない。そこには監督コーチの綿密なる計画、指導、選手の意欲、チームワーク、そして苦しい練習の積み重ね、関係者の支援等あらゆる努力の結晶が勝利をもたらすのである。それは価値があり測り知れない喜びと感激をもたらすのである。

この40周年という立派な節の上に立ってハンドボール競技同様運営に努力してこそすばらしい成果が挙げられるのである。

◎下部組織の立場に立って運営をはかれ

協会は忘れてならないことは下部の協会連盟、チーム、選手、関係機関の立場に立って理解ある運営をすべきである。独走してはいけない。お互いが一体となってやるべきだ。毎年のスケジュールに大きな変化がないからといってマンネリ化してはいないだろうか。

◎良き指導者をつくれ

近頃ハンドボールを見て感ずることは先ず第一に精神面である。スポーツで精神面の重要なことは誰しも百も承知である。それが無視されている。また、肉体面、技術面は非常に進歩を遂げた。然し基礎を忘れ小手先に走っていないだろうか、ハンドボールがチームゲームであることを忘れていないだろうか。もっと基礎の重要性を知り特徴あるチーム、特技の持つ選手をつくるべきだ。選手はハンドボールを知らな過ぎる。ハンドボールは練習だけでない。ハンドボールという学問を忘れてはならない。頭を使った〃考えるハンドボール〃をやってほしい。そこで協会に良き指導者をつくれと言いたい。良き指導者のいるところ、良きチーム、選手が育つ良き指導者の養成するときこそ、真のハンドボールが生まれるのだ。これは急務である。

◎ジュニアーの強化を優先せよ

全日本チームが外国から帰国した時先ず口に出すことは国際経験の不足だ。事実そうである。この解決法はジュニアーの強化をナショナル以上に行い海外遠征させ経験した立派な選手をナショナルに投入していくことだ。これをやらない限り日本の国際的レベルは上らない。その為には金だ。

◎恒久的な財源確保を計画せよ

ハンドボール協会がすべてのスケジュールを遂行するのも、強化策を完全実施するのもすべて金だ。金なくして協会の発展はあり得ないと断言できる。そのためにも一時的でなく恒久的な財源確保の計画を立てるべきだ。

昔の諺に「いうは安く行うは難し」とある。口ではあーだ、こうだといえるが、実行となるとなかなかむずかしい。最後に日本ハンドボール協会もいろいろと問題はあると思うが勇気と意欲を燃して運営に努力してほしい。

四十年過ぎし日本のハンドボール界を見る

愛媛県　越智　武

私がハンドボール競技を始めたのが昭和十三年の四月からである。この四十年間を振りかえってみると、当時の関東大学のリーグ戦全日本選手権と名をうって行う程度であった。

第二次世界大戦終戦直前の国際試合の開催、その後終戦後に国民体育大会の開催を契機に急速に全国に普及されてゆき、全国高校選手権大会、全国教職員大会、全日本学生選手権と大きく飛躍したので、一般、学生の世界大会への参加、中国・韓国との交流、オリンピックの参加で良い成績もあげられて来たが、このように歴史ができ、全国都道府県全域に協会ができて来たのである。

この四十年の月日は流れて一応の普及をみたが、何か一歩たりない所があるやに考えられる。

一、身近でできるハンドボールの普及。

二、世界の舞台でのハンドボールの台頭。

三、指導者の指導理念と指導法の一慣性。

近時世界の舞台に行っても身体的には見劣りのしない体格になって来た。

だが試合がシーソーゲームになると、完全に対等で亘り会えないで息切れがしている感がある。

この原由は、何処にあるか!!

今までの体格での格差のコンプレックスか

生れもったアジャ民族として運動能の可能性の素因なのか。日本での体育面での社会的環境なのか興味本位となり、精神面で徹底した教育がされないままでの技術修得志向がすぎるのか。

このような事を総合的に研究してみなくては、百年の計もむだになる。

日本ハンドボール協会の歴史に半世紀が目前に来ている。

身近に十年の計をたてねばならない時が来ている。

ハンドボール競技の技術に関連して考えてみるに、科学的な指導理念のもと、指導法が一慣されてこそ、本当の興味もでき、徹底さ

れ、普及されることでしょう。

また指導者の再教育の時期が来ている。ただ地域や、県大会に出場して全国大会に行くことのみを考え、近視的に技術を指導されていては大きな進歩は見られないのである。

まあ地域大会をへて全国大会に行く事も大変意義ある事ですが、ハンドボールを通じての永い将来に大きく希望を作ることこそハンドボール界への大きな足跡となり足のついた普及がされる事でしょう。

最後に学習指導要領にも取入れられたが、ハンドボールの試合中よく見られる、ラフプレー・である。

これからハンドボールに取組んでゆこうかと思う人(指導者)、これからハンドボールをやらしてみようかと思っている人は皆このプレーを見て、足ぶみをしているのである。

よく耳にする言葉ですが練習中に、防御で、当れ、当れ〃と言う言葉ですが、これは防御なのか、相手をいためつける苦策なのか指導者の理念がうたがわれるのである。

このような事がジュニアーよりの普及に害をしている事を特筆したのです。

この四十年を期に日本のハンドボール界も大きく飛躍する事を祈願してやみません。

〃モスクワ〃ではどうして頑張ろう関係者の精進を祈ります。

武より

日本協会に望むこと

熊本県協会
理事　泉　宏

日本ハンドボール協会40周年誠におめでとうございます。これまでに前進発展せしめた先輩諸氏に心から敬意を表したく存じます。

私共地方において、当々と斯道の発展のための一助にもと努力していることは、やはり何と言ってもいろことです。頂点を育成してオリンピックでメダルを獲得することは、もちろんそれはそのまま最も速やかな普及に貢献することであり、ぜひ今後も愛好者の全員が応援をして次のモスクワで好成績をあげられるようにしたいものです。それはこの種目の強力な宣伝になるからです。テレビや新聞に大きく取りあげられるからです。愛好者が増えて底辺拡大につながる最短距離になると思います。そこでそういった普及のための具体的で実現可能と思われる要望をします。

㈠　普及の対象を小学生に向けて指導者を養成する講座を全国に開いて欲しい。

㈡　審判研修の機会をふやし、全国的に判定基準を統一して欲しい。

㈢　積極的にテレビ・ラジオ・新聞等のマスコミを利用して、ゲームの報道・解説を多くして欲しい。

以上の三点ですが、まず第一点について熊本の場合を考えてみますと、男子二〇、女子二〇チームの小学生チームが昨年の新人戦に参加しましたが、その中には審判をしながらルールの解説を必要とするようなチームから、高度な個人技とフォーメーションプレーで見物をうならせるようなチームまでかなりの落差がありましたし、中学の先生に聞くと、でたらめなフォームにこり固って基本からやり直すのにかえって手がかかって困るというような選手の誕生もみているようです。観客動員においてはどんな大会にも負けず、熱心な両親の声援に会場は常に熱気が立ちのぼっています。熱心な指導者もふえている現状で、その要望に答えるような技術指導講座の場を多く作っていただきたい。

次に第二点については当然ありふれた要求と考えられますが、ハンドボールをより発展させるためには、やっている者も見ている者もスピーディーで面白いという印象を強めるようなきびしい吹き方で粗野なプレーを追放してくれる審判が必要だと思います。荒い方が得だと思わせるゲームは、そのままハンドボールは野蛮なスポーツだという印象とし、斯道の発展は望めません。また国体やインターニイなどで見聞する限りで、東日本と西日本で審判の、反則に対するきびしさが違い、東の方が甘いとか、西の方がきびしすぎるのだとか言います。選手がとまどいを感じるような吹き方もまだ多いと思います。審判研修をより多くして、若手の育成をお願いしたい。

第三点について、熊本の例をあげて恐縮ですが、今どんどんふえている学童チームは、地元の熊本日日新聞の後援の賜です。どんな小さな大会をも必らず報道してくれますし、熊日学童オリンピックでは、チビッコの一人一人の紹介までして貰えます。大会当日の一家総出の応援ぶりも熱が入るのは当然です。ラジオ熊本も、日曜の決勝戦は実況放送の録音を流してくれますので、県民の関心は高まる一方です。地域社会に限らず、全国的にマスコミを利用することに積極的であって欲しいと思います。

最後に、健全な母体を育成する目的で考案された競技なのですから、チビッコ大会と並行して、家庭婦人大会が行なわれ、「お母さん頑張れ!」の声援の中で、笑顔でハンドボールを楽しむ母親達がふえるのも夢ではないと思いますが、学童や母親のためにも、身体接触の粗暴なプレーを追放して行くならば……。

協会は明日といわず今日ただいまから、発想の転換を図るべきだ

決論が先になったが、40周年を迎えた日本ハンドボール協会も不惑の年、大きく脱皮したいものである。卑近な例で恐縮だが、世間でよく言われることがあるだろう〝日本人は飛呂に入る前に服を脱ぐ、外人は風呂から上がってから服を着る〟何のことはない。ばかにしたいい草だ。発想の転換とは大そうなことでなく、こんなことでいいではないだろうか。

全日本チーム（昨日＝一月四日＝第九回世界選手権大会（デンマーク）に6位入賞の夢を乗せて羽田空港を飛び立った）が、国際レベルに達すること、世界選手権でオリンピックで入賞を果たすことあるいは、いずれメダルを奪う――トップレベルの強化も必要だろうしかし、それには底辺を拡張、充実することが先決かもしれない。もちろんそうなるには、強力な組織力が必要だし、マスコミ対策も大切だ。これらが好循還なくして発展は望めない。

たとえばレフェリーの問題にしてもである。国際試合と中学生の試合を同じ見解で判定すべきではないだろう。また、ルール自体がそうである。今、世界ではこうだから、日本でもこうあるべきだ、というのには異論がある。極言すれば、国内ルールを作って、取り組み易いスポーツ。見て分かり易いスポーツにすることが必要ではなかろうか。〝国際ルール〟があるのは、当然、それぞれの国が国内ルールを持っているからだ。だから〝国際〟とわざわざ断ってあるのである。

ダブルドリブル結構、三歩に限らず、四歩、五歩でもいい。ただラグビーと区別する位いで、そこはレフェリーにおまかせ。とにかく小、中学生、ママさんたちには大いに飛んだりはねたり走ったりでハンドボール（A）に興じてもらう。小学生や中学生が考えられないハイテクニックを見せてくれそうに思う。そして高校生レベル（B）のハンドボール、大学生、社会人用（C）ナショナル用(D)＝国際ルールになるわけだ＝とA B、と、Dの段階で底辺の拡張から、トップレベルの強化までを分けること。そのためには、中央に片寄っていてはダメで、日本列島が一本の線で結ばれた組織であることが肝心だ。

このルールの問題は極究なたとえだが、いずれにしても、審判、技術、普及などの問題に〝ケンケンガクガク〟の話し合いが必要だ〝努力〟において人後に落ちない人達（研究熱心なハンドボールの虫達）が全国にごまんと埋もれている。埋もれた人材を発掘し登用する。我れが我れがの自我を捨て協力体制を急がないと分別の憂き目はついそこまで迫っている。

企業スポーツがスポーツの中核をなしているのが現状である。労働組合が要求と経営者の批判に明け暮れしていればいずれ労使もろとも倒れてしまう。ハンドボール界も、協会の批判ばかりでは進歩がない。自らの足元を照らし、謙虚な姿勢で協力することが40才の斯界には必須条件である。もちろん協会が適材適所に人を配し、度量の大きさを示すことが要求されるのはいうまでもない。

発想の転換を図ることは、何も奇抜だけを求めるわけではない。広い視野（目）を寛大な心(耳)がほしい。要は協会の目と耳に双眼鏡と拡聴器を備えてもらいたいと望むものである。

本誌編集委員　深江幸次郎

日本ハンドボール協会
審判部長　安藤　純光

「子曰、吾十有五而志于学。三十而立。四十而不惑、五十而知天命。六十而耳順。七十而従心所欲不矩」。これは論語の一節である。

10年前の協会創立30周年を迎えようとしているとき、機関誌No.45号に「人生で30才といえば自立の年令であり、日本ハンドボール協会も方向を見定めて前進しなければならない」と書いた。その前後日本ハンドボール協会は混乱していた。当時から私は審判部を担当するようになった。早くもあれから10年、日本ハンドボール協会は論語に云う「不惑の年」を迎えるにふさわしい成長発展を遂げ得たであろうか。混乱から脱却して10年、この間に全国中学生大会、高専大会、高校選抜大会（第一回が本年3月）が開催されるようになり、とくに、斯界待望の日本リーグが開催されるに至った。また教育系大学研修会も開催され、この面では他競技と肩をならべる段階に到達した。また、これらにともなって、日本ハンドボール協会の組織も充実され「不惑」にふさわしいかどうかは別としても、着実に発展しているといえるであろう。

さて話題を審判委員会に向けてみよう。

審判委員会の組織づくり、審判員審査の方法、全日本大会審判員の選出方法、公認審判員規定、審判員の育成、などが委員会において討議され、改善され実施されるようになった。事業および会議が定着し、年間の活動スケジュールが固定し運営がきわめてスムーズに行なわれるようになった。審判委員会に関しては、必要な事業および会議は一応ととのったといえる。

しかし、「五十而知天命」に至るまでには、いくつかの問題の解決と改善がなされなければならな

い。

その一つは、組織の確立と充実である。日本協会審判委員会（各ブロック審判委員長、各連盟審判委員長、ルール研究委員、そして審査委員で組織されている）は、他の委員会の範たるべき充実を見ている。これがさらに各ブロック審判委員会、各連盟審判委員会、そして各都道府県審判委員会が充実されることによって、組織が完成されることになる。このためにブロック、連盟、都道府県の審判委員会の充実をはからなければならない。

また、審判員の育成も急務である。審判技術の向上とともに、量においても、現在の数では競技の増加もあり飽和状態である。この意味で、昨年度発足したJHAレフェリーコースは、各方面から期待されている。このコースについても回を重ねるごとに内容の検討が行なわれ、より充実したものにして行かなければならない。

その他の事業についても、事業をより効果あるものにするためにその内容の充実については絶えず検討を加え改善されなければならない。

そして、その趣旨が、確立された組織を通じて伝達されることによって周知徹底されて、円滑な運営を期待することができる。

創立40周年は、現状を見きわめて、次の目標に向って前進するところに意議があり、50周年への途がある。

ハンドボールに関係する諸兄の支援と絶大な協力を得て、40周年が意議ある出発点となるように、そしてわれらのハンドボールが一層の発展を期待して努力しなければならない。

日本ハンドボール協会
強化委員長　渡辺慶寿

日本ハンドボール協会が、満四〇才を迎へたことは、大変な年月を経てきたものだと思います。その間の協会の運営には、数多くの人々の努力があり、ドラマがあったと感動せずにはいられません。人でいうならば、生後四〇年は、人生の充実期で今まで経験、学んできたことを実りあるものにする年令です。それだけに現在のハンドボール界に携る一員として、重い責任を感じております。サッカー、バレーボール、バスケットボール、その他のスポーツに何かしら、遅れをとっている感覚、声を大にしてここにハンドボール有りと叫びたい衝動はなにか、消化不良を起す思いです。

これを解決するためには、新しいエネルギーが必要となるであろうし、社会的にもアピールできる出来事がなければなりません。ミュンヘンオリンピックの出場は、たしかに日本のハンドボール界にとっては、ナイスニュースでありモントリオールオリンピック予選でのあの隠密試合は、社会的にもその決断の勇気と緻密さを高く評価されたものです。これは他競技の先駆的立場をとったことは、ビック・ニュースであると思いますその結果モントリオールオリンピックでは、男女チームの出場、これは、各球界にハンドボールの地味な努力を高く評価されてきました。しかし近代スポーツ界は、これだけの要素で満足できるものではありません。社会の背景とは異なり、スポーツの世界ではこれでよいということはありません。人間のあらゆる可能性を追求することがスポーツでありますし、その限界はないといえましょう。世界の記録は年々のびております。これがスポーツであるのかもしれません。しかも日本のハンドボールは過去十数年間国際的にも経験を積んできたものの日本の上に立つ国は未だ数多くあります。これらの国々を日本のナショナルチームが敗ることが私達の希望であり、その実現に努力して来たし、今後も一層努力が要求されてまいりましょう。そのためにはどのようにしたらよいかは、各方面でいろいろと論ぜられているように思われますが、神田順治先生（元東大教授、現日の出学園々長）は、敗戦の哲学として、しばしば戦って、しばしば負けるというのではなくて、しばしば負けるから、しばしば戦ろというのであり、負けたから挑戦するのである。私はこの点を学んだから人からどういわれても耐えて最後までやり抜くための修練ができたのではないかと喜んでいると、よく訓話を私に与えてくれました。これは先生の東大野球部の部員として監督としての経験から得られたものであると察するのでありますが、日本のハンドボールのチームが今後この敗戦の哲学より学び飛躍することができる日をハンドボールの全ファンが土台となり盛上げることが大切であると考えます。また一面には、ハンドボール員全体の秀れた指導者の養成それを基盤とした、よりよい選手の養成が必要となりましょう。まさに神田先生がいわれる The worst condition is the best condition 日本のハンドボール界のあらゆる分野でこの言葉があてはまるのではないでしょうか。

次期の五〇周年の迎へる時には真に the best condition となることを期待し、一層の努力と熱意を、そして団結をになうことによって希望が達成されるものと思い日本のハンドボール界の四〇周年を迎へるにあたり、心境を記してみました。

日本協会財務委員長
島田清史

私が財務担当の常任理事として4月に協会にはいってから約半年そして52年度の行事はすべて終った。

「協会は今後、何をなすべきか」という課題に向って、机に向っている今、やはりいることは、

ハンドボール153号に載った「各委員長に抱負を聞く」の欄で述べた事を繰り返すしかない。

〝フレッシュでアトランティヴな企画、宣伝、そして善を行ふに勇たれ〟

52年度の行事はつつがなく終った。だが、ただ何となし、例年通り終ったという物足りなさはどうしようもない。フレッシュでアトラクティヴなことは何があったか何一つない。

4月4日アジア選手権で日本が優勝したこと。

今春早々世界選手権に向け、ナショナルチームが出発すること、等々を知っているのは、協会日本リーグ関係者くらいで、一般社会人は勿論のこと、いわゆるハンドボールマンでも知らない人が多いのではないか。

他のスポーツ、ラグビー、サッカー、バレー等なら部外者の一般ファンでさえ、日程、ナショナルチームのメンバーなどよく知っている。ナショナルチームのメンバ

ーに誰がはいって、誰が落ちたとかは巷間よく耳にすることだ。

何故ハンドボールだけがマイナースポーツで、巷間の噂にならないのか？ ハンドボール界という井戸の中でハンドボールという蛙だけがワイワイガヤガヤやっているだけだからだ。もっと大きな池の中へとび出そうとしないからだ

〔コスモス〕

サッカーのコスモス招待試合、バレーのワールドカップ、今やっているアイスホッケーのソ連カナダ戦、どうしてハンドボールだけがこういうことが出来ないのだろう？ 理由は金がない。金がなければつくればいい。招待チームが来てくれないなら来てくれるまで口説けばいい。興行的に失敗したらどうする。赤字になったらどうする。「ハンドボールNo.153」に「51年は一般会計に若干の黒字を上げることが出来、感謝しております」とあるが、それは当然だ。

予算の収入源も収入額も決めているのだから、各部の要求を絞れば、どんなことをしたって黒字になる。高体連だって学連だって、もっと予算が欲しいに決まっているが、予算がないから仕方なく、現状で我慢している。豊かな「予算なくては事実は発展しない」そして豊かな予算を得るには財源をつくらなくてはならない。小売店が大スーパーマーケットになるには、莫大な借入金や一時的な赤字は覚悟しなければならない。

（今の協会には財政だとか予算案だとかはなくて、毎度の昨年度を踏襲したお決まり会計報告しかないのも仕方ない）

外国強豪チームの招待試合等、メンミツな計画でなるかわからないし、一時的な赤字を恐れていては何も出来ない。

それには、企画・宣伝・広報それに財務がからみあって始めてフレッシュでアトラクティブな事実が出来る。

今のままでは、井の中の蛙だ。それもこのままでは、上から蓋をされてしまいそうな。

日本リーグの顧客の入りに一喜一憂してソロバンを弾いているより、魅力もあり、みても面白いスポーツだということを世間に知らせることだ。そうすれば、結局ファンは激増、大学リーグ、日本リーグも満員になろう。

例えば今春の関東学生の欧州遠征等も、今までの考え方からすれば暴挙に近い遠征だが、私にいわせれば素晴らしい快挙だと思う。

（菅新会長の英断に心から感謝、拍手を送り度い）必ず、後々日本ハンドボール界のために良い結果を生むものと信じている。

今丁度モルランゴルから送られて来た、日本ハンドボールの名簿も見ているが、何と役員が一杯いることかとビックリした。これだけ日本中に確固とした支店があるのに、本店である日本協会の我々がしっかりしなければと責任の重大さを痛感した。成程協会には能吏は多くいるけれど政治家はいないという感じだ。

保身など考えず、有能な政治家として傷だらけになって突き進んでほしい。

（善を行うに勇なれ）

本来ならこういうことは、私が言われる立場なんだが、オブザーバーとして見守って来た。半年間感じた来、やらなくてはならない事。ザックバランに書かせて貰った。そして、本年度は鋭意実行にうつすつもりだ。

今号は、40周年記念特集号として「40週年に思う」と題し、各県協会ならびに日本協会関係各位の方々より御多忙の中にもかかわらず、多数御寄稿頂き誠にありがとうございました。

またこの頁を読まれた方々で協会に対する御意見等がございましたならば、日本協会宛にお寄せ下されば幸いに存じます。

編集委員会より

関東学生欧州遠征研修・日程

日付	日程
3月1日	女子　対　TSV Rat-Weiss Auerbach（第1組） 男子　対　TV Grosswaustadt（第一組） 2試合共　Grosswaustadt で遂行
3月2日	男子　対　SV Crumstadt（第2組）
3月3日	男子及び女子　対　TSF Heuchelheim（女子：第2組，男子：第4組）
3月4日	男子及び女子　対　Marbwrg 地区選抜チーム
3月5日	男子　対　Jahn Gensungen（第2組）ら女子対 Kirchhof（第1組）
3月6日	大学町 Heidelburg への諸学旅行
3月7日	男子及び女子　対　Bergitiasse の選抜チーム
3月8日	出　発

創立40周年記念第29回全日本総合選手権

男子

大同4度目の栄冠

▼一回戦

- 大阪教員クA（教職員連） 30（18—7、12—5）12 自衛隊下総（自衛隊連）
- 稲球会（社会人東地区） 15（9—6、6—4）10 大阪体大（学連）
- 三陽商会（実連） 31（18—10、13—11）21 スワロー兵庫（教職員連）
- 筑波大（学連） 22（11—9、11—5）14 神戸製鋼（実連）
- 高知クラブ（社会人西） 24（11—10、13—6）16 井草クラブ（開催地）
- 日大（学連） 17（10—6、7—6）12 セストラル自動車（実連）
- コンドルズ（教職員連） 20（9—6、11—7）13 名城大（学連）
- トヨタ車体（実連） 21（10—10、11—9）20 7スターズ（社会人中）

▼二回戦

- 大同特殊鋼（日本リーグ） 30（17—9、13—4）13 大阪教員クラブA
- 日新製鋼呉（日本リーグ） 21（7—7、14—11）18 稲球会
- 三陽商会 22（12—9、10—10）19 日体大（学連）
- 三景（日本リーグ） 20（8—10、12—8）18 筑波大（学連）
- 本田技研（日本リーグ） 29（13—9、16—5）15 高知クラブ
- 日大 18（9—9、9—6）15 大阪イーグルス（日本リーグ）
- 大崎電気（日本リーグ） 25（17—13、8—8）21 コンドルズ
- 湧永薬品（前年度優勝） 31（15—2、16—2）4 トヨタ車体

▼三回戦

- 大同特殊鋼 25（14—9、11—6）15 日新製鋼
- 三景 27（17—7、10—8）15 三陽商会
- 湧永薬品 25（11—11、14—5）16 大崎電気
- 本田技研 21（11—7、10—5）12 日大

▼準決勝

- 大同特殊鋼 30（16—9、14—6）15 三景
- 湧永薬品 18（10—5、8—5）10 本田技研

◎決勝

- 大同特殊鋼 15（6—5、9—5）10 湧永薬品

得	【大同】		【湧永】	得
0	柳川兄	GK	今井	0
0	倉谷	GK	福井	0
3	藤中	FP	津川	3
5	中井	FP	木野	2
2	松原	FP	穂積	1
1	花輪	FP	緒方	0
0	柳川弟	FP	高橋	0
0	大原	FP	戸田	0
0	中本	FP	藤本	1
4	蒲生	FP	松本	1
0	浦田	FP	山本	2
0	野田	FP	迫	0
15	(1)	PT	(0)	10

（審・狩野・光島）

女子

ビクター総合も制す

▽一回戦

- 日本ビクター（日本リーグ） 15（6—7、9—3）10 東北ムネカタ（実連）
- 大和銀行（日本リーグ） 12（7—3、5—3）6 中京女大（学連）
- 日立核木（日本リーグ） 17（6—5、11—2）7 筑波大（実連）
- ブラザー工業（日本リーグ） 13（6—2、7—6）8 ビクター球友会（開催地）
- 東女体大（学連） 11（6—8、5—1）9 大崎電気（日本リーグ）
- 立石電機（日本リーグ） ·17（9—0、8—1）1 大阪体大（学連）
- ジャスコ（日本リーグ） 17（10—5、7—5）10 日体大（学連）
- 東京重機（日本リーグ） 21（13—3、8—3）6 あすなろクラブ（社会人）

▽二回戦

- 日本ビクター 18（9—2、9—2）4 大和銀行
- ジャスコ 13（6—6、7—2）8 日立核木
- ブラザー工業 17（10—4、7—4）8 東女体大
- 立石電機 18（8—7、10—3）10 東京重機

▽準決勝

- 日本ビクター 17（8—5、9—3）8 ジャスコ
- 立石電機 17（5—7、12—5）12 ブラザー工業

◎決勝

- 日本ビクター 8（1—4、7—3）7 立石電機

得	【日ビ】		【立石】	得
0	鈴木	GK	和田	0
0	塙	GK	丸山	0
2	加藤	FP	篠田	1
2	穂積	FP	山下	0
1	小島	FP	平下	1
2	染谷	FP	紀野	3
1	斉藤	FP	林	0
0	伊藤	FP	池渕	0
0	池田	FP	橋ノ口	0
0	藤原	FP	桑原	1
0	岩城	FP	姫野	1
		FP	羽立	0
8	(0)	PT	(1)	7

（審・佐分利・大塚）

創立記念第29回全日本総合選手権大会を終えて

大会運営委員 山田哲雄

創立記念行事として今大会を開催することに決定され、例年は東京都協会の主管であったのだが、記念行事ということと都協会の都合などもあり、今大会は日本協会直轄で主催、運営することになり企画専門委員会が中心となって運営委員会を構成した。

同大会運営の経験者が手島氏一人という本当に心細いスタートだったが、途中から、都協会のベテラン島田房二氏、普及委員長勝繁夫氏、普及委員室川正治氏、清水口真澄氏、看護に稲垣京子氏、協会事務局提慎氏、神保実子各氏の応援御協力を頂いて何とか悪事に閉会まで運べてホッとしているところです。個人的にも今大会の運営など初めてで、なにかと不手際も多かったので不省点や感想などを以下に記します。

㈠ 大会役員

㋑人数は最少限にしたが、競技委員長は競技委員会から人選し柳井文治氏は記念行事委員であるので大会副委員長をお願いした方が良かったようだ。

㋺運営委員長・同副委員長を置き責任体系を明らかにすべきだった

㋩補助員、関東学連理事長も気持ちよく引き受けて下さり、柳町君以下関東学連委員が実に積極的によく働いてくれた。プログラムには、補助員関東学連委員柳町和幸他二十名と載せた方が良かった。

㋥大会会計係を専従で置くべきだった。

㋭仕事の分掌を細分化し担当をはっきり決めておくべきだった。

1、大会要項（推薦書を含む）
2、組合せ（審判長などと）
3、代表者会議
4、渉外（体育館、臨時電話、N

HK）

5、役員（役員人事、委嘱状、当日出欠予定表）

6、宿舎（役員、審判員、チームの予約申し込み）

7、装飾（立看板・屋外大看板・館内たれ幕）

8、会場（コート設営、準備、客席駐車場、墨書き等々）

9、入場係（券モギリ、受付、プログラム及び当日券売り場、ネームプレート、リボン等）

10、場内放送（アナウンサー人選と演出、原稿チェック）

11、表彰（賞状、優勝メダル、参加章、レプリカ、開閉会式典）

12、備品用具（文房具、ゴールとネット2組、防球ネットと重し、使用球、メンバー表、記録用紙ストップウォッチ、湯茶セット、茶菓、スプーン、コップ盆等々）

13、記録（記録と記録整理、コピー器機、記者団への説明と解説）

14、プログラム（広告、校正）

15、ポスター（プロ入場券と共に統一標語を作る。貼布先、場所と効果を考慮する。）

16、入場券（印刷と裏面広告、販売促進方法と観客動員増の方法）

17、アトラクション（PT合戦その他のプレゼント用品調達など）

18、一般事務と会計（協会事務局）

19、招待状（招待状と招待券の発送とリストアップ）

20、大会会計係（大会期間中の現金出納一切を受けもつ）

21、接待（招待者、役員、記者他への接待と弁当）

㈡ 入場券販売

12月7日～11日の期間は、中学高校の期末考査に当るので中・高生観客動員が大変困難で12月中旬頃からにした方が良い。

今回の入場料金は安く、特に大学、高校を学生券（当日四百円）とし、また、初日と二日目を共通券とし、なお、中学チームに十枚宛招待券を送ったのだが、入場料収入予算の六十万円を当日券売り上げ金のみで百万円近くになったことも嬉しかった。

ポスターは作成しなかったが、その代りの観客動員、入場券売り上げ増を狙って、東京都、千葉県埼玉県、神奈川県の一都三県の中体連、高体連加盟校、関東学連加盟大学、その他の関東一円の機関誌講読チーム及び個人宛全員に入場券購入依頼文と申し込み書と同控え書の三通を郵送して申し込みによる前売制とP・Rとを兼ねて行なった。

その甲斐あってか、初日、二日目にも多少の観客動員ができ、都内のみでなく、千葉、埼玉、神奈川からの中、高生などの動員ができた。

㈢ P・T合戦

ペナルティ合戦はとても好評で特に、中学生の男子などは、トレパンスタイルに着替えて観戦にくる者が多く十五名～二十名の募集に連日六十～百名もが押しかけて抽選などが大変という係にとって嬉しい悲鳴となった。

デザント・アシックス、モルテンミカサの四社からのプレゼント用品寄贈も気持良く供出して頂き豪華であった。（スポーツバッグシューズバッグ、手下げ袋、Tシャツ、ソックス、ノーパンクボール等々）ペナルティ合戦をハンドボールのビッグゲームでの恒例にしたら良いように思う。柴田選手をはじめG、K諸氏の協力やナショナル選手諸氏のサイン等の協力があり、大いに大会の盛りあがりに貢献してくれた。

㈣ サインボール投げ入れ

40周年記念大会ということで大会使用球をファンサービスとしてナショナル選手のサイン入りで閉会式直後に男、女子優勝チーム選手によって観客席への投げ入れを行なった。二階席への投げ入れは危険なのでという打合せがあったのに当日選手に伝達するのを忘れてしまい何人かの選手が二階席に投げ入れてしまった。幸いにも事故にはならなかったが冷汗ものであり、深く反省している。

㈤ 備品・用具

ラインテープ、小物などの不備や不足があってハラハラものであった。細心の注意が必要だった。

㈥ 日本リーグ二部大会

期日が迫っての飛び入り的な決定だったため打合わせ不足もあって、スムーズさを欠いた面もあったが、会場・時間など便乗できるのだからすべてに好都合なのだから結果的には良かったのではないか。

㈦ 東京女子体育大学新体操模範演技

費用は多少かかったが、記念大会のアトラクションとして、インカレ第一位という実力あるメンバーによる演技に場内は充分に味わって頂けた反応だった。

女子決勝の延長を考慮し開始を十分間繰りあげてインターバルを三十五分間とり、新体操の入退場と説明を含めて十分間とし、男子の練習を十分間、男子選手紹介などを三分間としブランク十二分間とした。

㈧ 館内吊し幕

『日本ハンドボール協会創立40周年記念はばたけモスクワへ第29回全日本総合ハンドボール選手権大会』業者（清水舞台工芸KK）の見積りで十五万円ということで手造りで作成することにした。

材料・布・ペンキ・刷毛の購入と縫合で一日、書きあげるのに一日と丸二日間で大変ではあったが良く仕上がり、材料費一万円未満でできあがったことが嬉しい。

㈨ 投書箱の設置

『周年を迎えた日本ハンドボール協会は、今後何をなすべきか』ハンドボールに関する御意見やアンケート等をとる等の計画をしたら良かった。

最後に大会運営というものの、計画の段階から、実施まで反省点も多く出て勉強にもなったので、今後に生かしたい。

今回のみならず今までの全日本総合選手権大会について何かお気付きの点（この様にしたらよいのでは……これをこうすればもっと良かった……etc）がございましたら協会宛にどんどん御意見・御希望をお寄せ下さい。

全日本総合もハンドボール発展の一つの手段として、やはり皆様方からより楽しく観戦して頂くためにも、皆様の生の声を取り入れて更により良い高い水準のもとにして行きたいと思っております。

今年の30回大会、翌年の、翌々年の大会を皆様の手で盛りあげて行って下さい。

JIHL

第2回日本リーグ最終結果報告

男子・湧永薬品、女子・日本ビクターに栄冠

第7週 第二日

■男子

▽東京

三菱レ大竹（広島）16（12―3、4―5）8 日新製鋼（広島）

三景（東京）21（11―13、10―8）21 大阪イーグルス（大阪）

第7週 第三日

■男子

▽東京

三景（東京）18（10―11、8―7）18 日新製鋼（広島）

▽京都

湧永薬品（広島）11（5―6、6―5）11 大同特殊鋼（愛知）

▽愛知

大崎電気（埼玉）21（11―12、10―6）18 本田技研（三重）鈴鹿

	【大同】	S	得	【湧永】	S	得
GK	柳川清	0	0	今井	0	0
GK	倉谷	0	0	福井	0	0
FP	藤中	3	1	津川	9	3
FP	中井	8	1	木野	3	1
FP	松原	2	1	穂種	4	1
FP	花輪	8	2	緒方	0	0
FP	柳川実	0	0	高橋	0	0
FP	大原	2	0	戸田	1	0
FP	中本	0	0	藤本	2	1
FP	蒲生	17	6	松本	4	2
FP	浦田	0	0	山本	8	3
FP				迫	0	0
		40	11		31	11

（審・狩野、藤本）

（PT）【湧永】山本1（0）【大同】蒲生3（1）

□女子

▽東京

大和銀行（大阪）7（5―2、2―2）4 東京重機（東京）

▽京都

日本ビクター（茨城）12（7―6、5―4）10 ジャスコ（三重）

▽愛知

日立栃木（栃木）5（3―2、2―2）4 大崎電気（埼玉）

立石電機（熊本）11（4―1、7―3）4 ブラザー工業（愛知）

第7週 第四日（最終日）

■男子

▽岐阜

湧永薬品（広島）22（11―11、11―6）17 大崎電気（埼玉）

▽堺

大阪イーグルス（大阪）18（8―10、10―5）15 三菱レ大竹（広島）

▽岡崎

大同特殊鋼（愛知）17（11―5、6―4）9 本田技研（三重）鈴鹿

□女子

▽岐阜

大崎電気（埼玉）16（6―6、10―2）8 大和銀行（大阪）

▽堺

日本ビクター（茨城）7（4―5、3―2）7 立石電機（熊本）

▽岡崎

ブラザー（愛知）12（8―3、4―5）8 日立栃木（栃木）

ジャスコ（三重）13（8―3、5―2）5 東京重機（東京）

日本リーグ勝敗表（前後期最終結果）

〔男子〕	湧永	大同	三景	イグ	本田	大崎	日新	三菱	P
湧永薬品	……	○△	○○	○○	○○	○○	○○	○○	27
大同特鋼	●△	……	○○	○○	○○	○○	○○	○○	25
三景	●●	●●	……	○△	○●	○○	●△	○○	14
イーグル	●●	●●	●△	……	○●	○●	○○	○○	13
本田技研	●●	●●	●○	●○	……	○●	○○	○○	14
大崎電気	●●	●●	●●	●○	●○	……	○○	○○	12
日新製鋼	●●	●●	○△	●●	●●	●●	……	○●	5
三菱レ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●○	……	2

〔女子〕	ブラ	ジャ	ビク	立石	大崎	日立	重機	大和	P
ブラザー	……	○○	●●	○●	○○	○○	○●	○○	20
ジャスコ	●●	……	○●	○△	○○	○●	○○	○○	19
ビクター	○○	●○	……	●○	○○	○●	○○	○○	22
立石電気	●○	●△	○●	……	○○	○●	○○	○○	19
大崎電気	●●	●●	●●	●●	……	○●	○○	○○	10
日立栃木	●●	●○	●○	●○	●○	……	○○	○○	16
東京重機	●○	●●	●●	●●	●●	●●	……	○●	4
大和銀行	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●○	……	2

・○●は左が前期，右が後期の勝敗
（前期成績順）

大同―湧永戦評

◎前評判通り、第二回日本リーグの優勝を決っするのにふさわしい好ゲームとなった。

湧永は、立上り大同蒲生のディフェンスの上から打つ強力なロングシュートで得点し有利にゲームを進めていったしかし勝ちを意識しすぎてか動きに若干固さが目立ち15分過ぎ頃より木野の好リードで若い松本、山本らを存分に走らせ、ペースを取り戻し6―5のリードで前半を終えた。

後半に入ってからは、大同蒲生、湧永津川の両大砲が互いにゴールを決め、ゲームをいっそう盛り上げた。

大同花輪、松原、藤中らの功技と、湧永の若手選手の素早い動きで全く互角に勝負を進め終盤に入った。

終盤に入り退場者が出て更に激しいゲーム展開となったが、結局両チーム共に固い守りで互いに加点をゆるさず、6―5の大同のリードで引き分けとなった。そしてこの試合大同蒲生の6点が光った。

プレス・ルーム ＜6＞

小山　敏昭
———共同通信社運動部—

■実業団と学生界

日本リーグは湧永とブラザー、全日本総合は大同とブラザーが優勝してことしのビッグイベントは終了した。

男子の〝二強〟湧永と大同の争いはことしの大きな焦点であった昨年、日本リーグを取った大同が全日本総合で湧永に敗れ、ことしは逆に日本リーグに勝った湧永が全日本総合で大同に苦敗を喫するという興味深い結果となった。両チームとも『連続して負けたくない』というライバル意識が生んだ結果といえよう。

この両チームのことしの通算成績は2勝2敗1分け（四強リーグ国体、日本リーグ、全日本総合）と全くの互角。全日本代表の〝大砲〟蒲生や中井ら力強さのある選手をそろえる大同と、松本、山本ら若手のがんばりとテクニックの湧永の競い合いは来シーズン以下も続いていくことだろう。

一方女子はビクターの大健闘が光った。国体で優勝したビクターは日本リーグでも決して楽な展開ではなかった。にもかかわらずじっとしんぼうを重ね、最終週に見事初優勝を成し遂げた。小島、加藤、穂積と好プレーヤーをそろえてはいたが、最後の土壇場まで選手を引っ張っていった池田監督の手腕が評価される。勢いに乗ったビクターは全日本総合も制し、三冠王を達成した。今季はどんぐりの背比べ的な女子だっただけに、ビクターの〝三冠〟はよけい価値がある。

大学勢ではインカレで男子が日体大、女子が東女体がそれぞれ優勝した。だがここ数年どうも勢力分布が〝東高西低〟になってしまった。西日本勢の巻き返しが期待されるのだが…。また学生界全体のレベルダウンが目立ち、ハンドリングやドリブルなどにイージーミスを繰り返している。このままでは日本リーグ勢との差はますますついてしまうに違いない。

○○選手がX百万円で△△会社へ就職！

プロ野球では江川がクラウン入りを拒否したことからドラフト制度に対する見直しが話題になっている。新人選手が入団するときに各チームがばらばらに交渉して契約金や年棒などほう外な金額にならないようにと作った制度だが、選手にしてみれば『自分の好きな球団に入れない』ということになり、またその他にもいくつかの無盾がこの制度には出てきているようだ。

ところで契約金などを出して入団（入門）を決めるのはプロ野球大相撲などプロスポーツの世界だが、アマチュアスポーツにおける〝就職〟の現実はどうだろう。

概していえば日本で盛んなスポーツほど選手獲取競争は激しい。「大学に行く前の高校時代からもう就職の内定書を出しておくんです」（サッカーのあるコーチ）「大学時代に活躍したから取ろうと思ってももう無理です。みんな高校のときに自分の就職先もほぼ決めているんですそれを変えるためにはいろいろな好条件でも出さなければ…」（バスケットボールのコーチ）など、そこではプロスポーツ界以上の青田狩り、札束合成が行われている。

一時代前のように選手が頭を下げて、『会社に入れていただけますか』という風景はいまはほとんどない。むしろ会社の監督やコーチが選手に対してペコペコしているシーンも時たま見かける。「○○が仕渡金、何百万で○○会社へ入った」などという話もいまやプロだけでなくアマチュアの世界でも耳にする。

強豪チームであればあるほどその力を維持するためにいい選手を獲得しなければならず、そのためには多少の負担も仕方ないといったところか。

では、ハンドボールではどうだろうか。私自身まだ『○○が何百万円で○○へ就職する』という話は聞いたことがない。しかしいずれは耳にしなければならない言葉であるような気がする。

技術コーナー

――日本協会　競技委員会・技術委員会　川上整司――

第二回　スカイプレーの巻

質問「次の大会で、スカイプレーを使いたいのですが、どのような練習を積めばよいでしょうか。」

答◎このプレーは、高い技術の組み合わせですが、最近では、実業団、学生、高校生等の男女を問わず見事に使いこなしています。又観る側も、それが鮮かに決まるとスカットした気分にさせられます一点を争う白熱した試合展開の中で、一人、二人とエリアの空間に大きく跳び、シュートモーションをかけては打たず、ボールは次々とパスされ、ようやく三人目で全くノーマークが出来上り、ボールを完全にキープしたシューターだけがエリアに浮ぶ。このように一駒々を期待して待つ瞬間の技の素晴しさは、つまらぬ昨今の芸術よりも遙かにそれらしくみえるハンドボール独特の攻撃パターンの一つです。

スカイプレーはハンドボールの魅力の一つ

ハンドボールの人気を高めるには大いに、このようなプレーを試みて熱烈なファンをつくりたいものです。

とは言っても、中学、高校生等でこのプレーだけに魅力を感じ、練習の大半を費やすようでは大きな誤りです。一流チームの選手達は基礎をしっかり身につけているからこそ出来るのであって、まだまだ未熟な選手達は始めに基礎を修得することを忘れないようにして下さい。一流チーム、一流選手に憧れ、そればかり練習するのは猿真似になってしまい最も危険です。

それでは段階を追って次のような練習をしてみましょう。

㈠　パスを出す練習（ランニングジャンプパス）これは一般的な練習方法で、どのチームも経験していると思いますが、ツーマンで平行に走り、パスをしながら普通のランパスだけでなく、走りながら大きく跳びパスをする。そしてジャンプをして空間でのパスのコントロールを身につけましょう。

次はジャンプシュートモーションからのパスです。

この練習隊形は図1のように4人で行います。AはBから走りながらパスを受け15度～20度ぐらいの位置からシュートモーションに入る。そのままキーパーを引き寄せてから、逆側ポストのか、逆サイドのにパスを送る。これを全員で繰り返し行います。

㈡　空間でキャッチしシュートする練習方法。

図1

A　B　C　D

(注) 図中 ――▶ はランニングコース ----▶ はパスコースを示す

まず用具として高さ80cmぐらいの跳び箱か台、それに跳び箱の踏み切り板を必要とします。

最も簡単に行なう方法として写真Ⅰのように跳び箱、あるいは台の上から降りながらキャッチしてシュートします。パスはシューターの少し前に浮くようなボールを出して下さい。降りながらのプレーですから容易に出来ますので、空間での身体のバランスを保つにはどうしたらよいか、自分なりに考えながら繰り返し練習して下さい。

つぎに写真Ⅱのように助走をつけて踏み切り板を使ってみましょう。これを使いますと跳躍力のない選手でも高く上がりますので、実際の場合よりずっと楽に出来るのは言うまでもありません。パスは写真Ⅰと同様にシューターの取り易いところに軽く出します。こ

写真・Ⅰ

写真・Ⅱ

の二つの方法を何回も繰り返しますと空間動作の感覚が身に付き、目的にぐっと接近していきます。

㈢ 基本プレー（スリースカイプレー）

図2

A　B　C　1　2

△……G.K

図2の隊形でAはBからパスを受けシュートモーションからCにパスをします。Cは助走をつけてエリア内にジャンプし、Aからのパスを受けシュートに結びつけます AとCのコンビプレーとなり三人で出来る最も簡単なスカイプレーの練習方法です。

これをさらに進めていきますと図3のようになります。

この場合は三人で走りながらそれぞれの任務をはたします。

まずCはBとクロスしてボールを受けダッシュをしながらAにパスをしAは15度ぐらいからシュートモーションに入り、キーパーを充分引き寄せてから、それに合せて走り込んでくるBにパスをしBは大きくエリアの空間に跳んでシュートを決めます。

図3

B　C　A　1　2　3

―基本プレーを完全にマスターして―

㈣ 応用プレー

㈠、㈡、㈢と基礎プレーが完全に出来ない限り机上で考えたフォーメーションを試合で使っても、成功するハズがありません。

反復練習を繰り返し、それらを修得したならば、チームに最も会う戦法を創って下さい。

□例1、図4を見て下さい。

Aはbをブロックしたcにパスを送り、リターンパスを受けシュートモーションに入って、Dに早いパスを送る。その時Fが、eをブロックすると同時に、Bが走り込んで、Dからパスを受けシュートする。このパターンからはAからDにパスをしてもよし、ポストのGにパスすることも出来ます。

□例2　同様に図4を見て下さい

次はフローターAがサウスポーの場合に効果的です。BからAにパス、aがAの方に寄った瞬間、Fはaの右側をブロックし、Aよりパスを受け、Aに返す。Aはシュートモーションから右コーナーのDにパス、Dもシュートモーションから、Eにパスし、Eはそれを跳ぶことなくスタンディングのままキャッチし、倒れ込みシュートをします。このフォーメーションはAが強力なロングシューターであればある程、右45度に、ディフェンスが集中するために、左45度のポストに大きく、オープンスペースが出来、容易に決まる確率の高いフォーメーションです。

図4

A　B　a　E　c　d　e　F　1　2　3　4　C　D

○……オフェンス　▲……ディフェンス

次の頁に掲載された10枚の実戦写真は、大同・湧永の一戦を撮ったものです。

左45度のジャンプパス、右45度のブロック、そしてわずかな距離を生かして、走り込み、ジャンプさらに空間でのキャッチからシュートまで、実に見事に、どの一つを取っても、申し分のないプレーです。参考にして下さい。

自分達に最も適した個性あるものを！

いづれにしましても、このプレーだけで相手を倒すことは不可能です。基本的な攻撃方法を修得した後に、フォーメーションプレーの一つとして持つべきものです。たとえばもう一点欲しい時に、これによって得点出来るとチーム全体は、盛り上がり、実に効果的です。どうか、いろいろと工夫を凝らして、自分達に最も適した方法を選び、個性のあるプレーをして下さい。

（次ページ）
連続写真説明

湧永薬品、フローター木野がジャンプシュートモーションによりGK柳川を引きつけ、ポストの戸田へ絶妙なパスを入れる。

IHF 広報から No. 119／120 1977年8月／11月（一部紹介）

§ 理事長ペップマイヤー

オリンピック開催年のＡ世界選手権大会，４年毎でなく２年毎のジュニアー大会といったことが，次のレイクジャビック（アイスランド）総会（1978年９月）での中心議題になるでしょう。

現在のところの関心の中心は２つある。

１つは10月ルーマニアで行なわれた女子ジュニアー世界選手権大会，１つはデーマークでの男子世界選手権大会

ＩＨＦ理事会では

トルコの仮加盟承認をした。

§ 理事会

将来のジュニアー世界選手権大会は男子16チーム，女子12チームで２年毎にという提案が1978年総会に出される。

§ ＩＨＦニュース

○ 1978年９月レイクジャビック（アイスランド）での第17回ＩＨＦ総会，1978年９月６日（到着日）～12日（出発日）選挙は1980年までない。

○ トルコが仮加盟メンバーとなる。
次の総会で正規メンバーとなる。

○ 象牙海岸の権利停止が解除されうる。財政上の義務が果された。

○ ハンドボールが近くユニバーシアードの種目に（男女とも）なるようＩＨＦは努力している。

○ 1979年ＩＨＦシンポジウムはユーゴスラヴィアでレフェリー，トレーナー合同シンポジウム1980年のルール改正が中心議題となる。

○ 未普及国への広報，普及
アジア・アフリカ協会はまだその責任者を決めてない。広報・普及委員会委員長ジンメルは1978年にアフリカへ行く，未普及国に対する広報リーフレットを作る。

§ 48人がＩＨＦレフェリーの試験にパス

各地（バクダッド，フライブルグ，トリニック，ブカレスト）のレフェリーコースに参加した109名中48名が試験にパスして国際審判員として資格を有するＡリストに入った。

新しいガイドラインではリストＢの候補者がリストＡに入るには地方コースを成功的に完了することが必要とされている。

ＰＲＣ委員長ワングは台北で70名の参加，東京で50名の日本レフェリーの参加を得てミニコースを開催した。

§ 女子世界選手権大会ヨーロッパ予選の予定

最有力はユーゴスラヴィアである。

それに続くのはルーマニアとポーランド。

西欧勢ではデンマーク，スエーデン，ノルウエー，チェコ，５チームが本大会出場

§ ルーマニアでの第１回女子ジュニアー世界選手権大会

優勝：ユーゴスラヴィア
２位：ソ連，３位：ルーマニア，４位：東独，５位ポーランド，６位：ハンガリー，７位：ノルウエー
８位：チェコスロヴァキア
他参加国：コンゴ，オーストリア，オランダ，西独
フランス，デンマーク

§ ニュース

○ イスラエルが第10回マカビアード大会優勝
２位フランス，３位スエーデン，４位イタリー
５位デンマーク，６位カナダ

○ 1978年ジュニア男・女ハンドボール大会於テラモ（イタリー）
９才～19才　1978年７月４日～８日日

○ ポートサイド（エジプト）でのトレーナーコースにエジプト，イラク，ヨルダン，クエート，パレスチナ，サウジアラビア，スーダン，シリアから107名が参加

○ カナダでハンドブック「現代チームハンドボール」出版英語

§ 第９回男子室内ハンドボール世界選手権大会於デーマーク

○ カナダと日本が出場資格を得た。

○ アフリカ代表の代りにフランスが出場
アフリカ（エジプト）辞退

○ レフェリーの指名
Ｄグループ（ポーランド，スエーデン，日本，ブルガリア）ライシエル／テテンス（東独）ラウシュフス／ブシュダ（西独）ライカート／イスシャー（スイス）

§諸試合結果

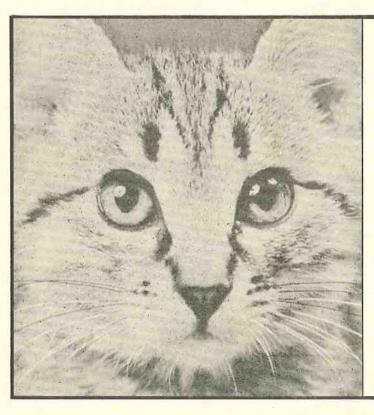
女子：○ワルナ（ブルガリア）に於る国際大会（1977年７月５日—10日）
○ソ連杯（1977年９月14—21日）
○４か国大会（於東独）
○エレガントカップ（於ハンガリーブタペスト）
○カルパチ杯（於ルーマニア，バカウ）
○ジュニア女子「友好大会」於ルーマニア，チミソアラ
○ジュニア女子友好大会於チェコスロヴアキア，オストラバ

男子：○マルチ・マニフェストカップ於ポーランドクラコフ
○４か国大会（ユーゴにて）
○第５回４か国トーナメント於スイス
○第３回ノルディク選手権大会於アイスランド
○トルナバ（チェコ）に於る国際大会10月31～11月５日
○デブレセン（ハンガリー）に於るジュニアー大会８月11～16日
○チミソアラ（ルーマニア）に於るジュニアー「友好カップ」大会８月12～14日
○トリネック（チェコ）に於るジュニアー「ベスキデンカップ」９月４～９日
○スイスに於るジュニアー「アルプ・アドリアカップ」11月17～19日

アイスランド—中共　於アクラネス（アイスランド）10月４日33—31
〃　　　レイクジャビック（〃）32—26

大修館，東京，212～236，昭48，
9）新立義文；成人女子の加齢による形態の変化に関する研究，その1，上腕囲，前腕囲，手首甲，大腿囲，下腿囲と皮脂厚の変化について。体質医研報，（26）3・4，昭51，204～213。
10）飯塚鉄雄，日丸哲也，永田晨，中西光雄，岩崎義正磯川正教；日本人の体力標準値，東京都立大学身体適性学研究室，不昧堂，東京，307～366，昭50。
11）鈴木尚；人体計測，人間と技術社，東京，p 44～46 昭48。

お断り

文中，表1～表5につきましては，来号（161号）（下）にて掲載致しますので，御了承下さい。

Side との差は小さく，ポジション別の間には Center, Side と G・K, Top, 45°Side とは差がみられる。

3　一般高校生との周囲径差について，

高校女子選手のポジション別上腕囲，前腕囲，手首囲大腿囲，下腿囲，足首囲の一般高校生の女子を基準としたT—スコアは図3のとおりである。

図3に示すとおり，上肢の周囲径についてみると，上腕囲，前腕囲，手首囲とも一般高校生女子よりも高いT—スコアの値を示している。ことに，ポジション別では，前腕囲における G・K, 45°Side のT—スコア値はきわめて高く，上腕の発達のいちぢるしいことがうかがえしかも，どのポジションの選手の値より大きくポジション差を推測することができる。このことは手首囲についても同様のことがうかがえ，Side および Center と一般高校生女子とのT—スコア値の差は小さく，G・K，および 45°Side との間には大きな差として認められ，手首の強さも推測される。

いっぽう，下肢の周囲径についてみると，大腿囲，下腿囲，足首囲の一般高校生を基準としたT—スコアはどのポジション別でも高値を示している。しかし，各ポジション間の差は認められないものの，下腿囲において，45°Side に高いT—スコアがみられ，45°Side の腓腹筋の発達にともなう下腿囲の増大が推測される。

4　一般高校生との皮下脂肪厚差について

高校女子選手のポジション別上腕背部，肩甲下部，上腕前部，前腕部，臍部腹部，腸骨稜部，大腿前部および下腿背部の一般高校生女子を基準としたT—スコアは図4のとおりである。

図4に示すとおり，上肢部における皮脂厚は上腕背部の Top および前腕部の G・K のほかは，どのポジションの選手よりも低いT—スコアを示し皮下脂肪が少ないことがうかがえる。ことに Center の皮脂厚は Side と比較すると明らかな差がみられ上腕背部，上腕前部で5%での有意水準で差が認められ前腕部では1%の有意水準で差が認められ体質的な相違が推測される。また，体幹部皮脂厚についてみると，肩甲下部，臍部腹部および腸骨稜部において， Top および Side の腸骨稜部に一般高校生女子との差がみられないのみで，他では低いT—スコアを示し皮下脂肪の少ないことがうかがえる。また， Side と比較すると，有意な差こそ認められないが Center および 45°Side の皮下脂肪が少ないもののようでありポジションによる差とも考えられる。

いっぽう，下肢部皮下脂厚についてみると，大腿前部下腿背部とも，一般高校生女子の値より低いT—スコアを示し皮脂厚の少ないことがうかがわれる。しかし，各ポジション別の差は， Side と比較して低いT—スコアを示すものの有意な差があると認められない。

まとめ

九州・山口・沖縄地区の各県代表の高校女子ハンドボール競技選手について，ポジション別の形態差について考察し，つぎのような結果を得た。

1）身長，体重，胸囲，および座高では，ポジション別による差は，Goal Keeper と 45°Side Player の体格がどのポジションの選手よりも良く，ことに身長においては Side player は低いようであるが，胸囲に差が認められないことからすれば，胸厚の傾向がうかがえる。

2）肩峰幅，腸骨稜幅，胸郭幅および胸郭前後径では，ポジション別による差は， Side position player が低値で Goalkeeper, Top, position player および45° Side position player の差が大きく，ことに，腸骨稜幅では Side position playor は一般高校生女子の発育より悪いことがうかがえる。しかし，胸郭前後径では，ポジション別の差はあるものの有意な差があるとは認められないことからすれば， Side position player は胸厚のものが多く，いわゆる「ずんぐり型」であろう。

3）上腕囲，前腕囲，手首囲，大腿囲，下腿図，足首図では，どのポジション別の選手も一般高校生女子よりも大きく，筋内量の増大による腕の大きさが考えられる。ことに前腕囲，大腿図，下腿図の筋肉の発達による差がうかがわれる。ポジション別による周囲径の差は，前腕囲と手首囲に Side position player と比較し，有意な差としてみられたか若干の差はうかがえるようである。

4）皮下脂肪厚では，上腕背部，肩甲下部，前腕部，臍部—腹部—，大腿前部，下腿背部とも，どのポジションの選手の皮脂厚は一般高校生女子よりも薄く，周囲径が大きい割合に対しての皮下脂肪の沈着は少ないもののようである。しかし，上腕前部，腸骨稜部の皮下脂肪のポジション別による差は必ずしも一般高校生女子よりも少ないとは言えない。

参 考 文 献

1）猪飼道夫ほか；種目別現代トレーニング法，大修館東京，昭43。

2）猪飼道夫ほか；現代トレーニングの科学，大修館，東，昭43，164～204。

3）平木，馬場，中出，相浦，望月，北岡，田中，山崎竹野，高山，鈴木；ハンドボール選手の体力の評価に関する研究，体育学研究，14(5)，昭45。

4）渡辺，広田，滝沢，青山，北川，横山；ハンドボール選手の相関分析，体育学研究日本体育学会第22回，大会号，476号，昭46.

5）木村邦彦；ヒトの発育，メディカルフレンド，東京昭48（第1版第5刷）186～232

6）村松博雄，岡本一彦；性教育学，新宿書房，東京，1977，196～227。

7）高木健太郎編，鈴木和悦；女性の思春期，からだの科学，日本評論社，1976，No. 67，68～78，

8）平山宗宏；年齢と健康，思春期の青少年とその健康

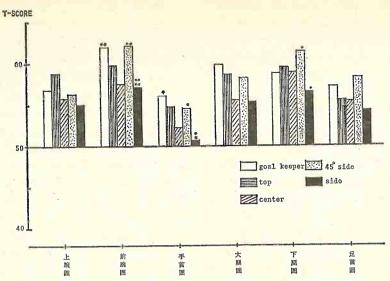



図3　一般高校生女子を基準とした，九州・山口地区高校女子ハンドボール選手のポジション別周囲径の T-SCRE
注：図1に同様

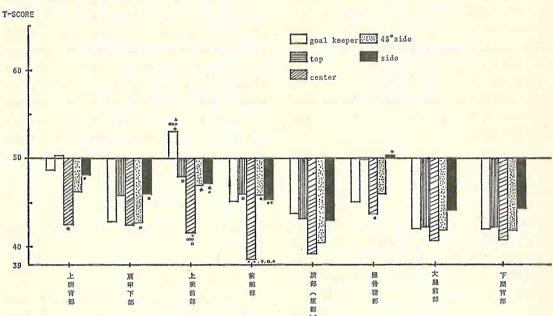



図4　一般高校生女子を基準とした，九州・山口地区高校女子ハンドボール選手のポジション別，皮下脂肪の T-SCORE
注：図1に同様

高校女子選手のポジション別肩峰幅，腸骨稜幅，胸郭幅，胸郭前後径の一般高校生の女子を基準としたT―スコアは図2のとおりである。図2に示すとおり，肩峰幅は，Side と一般高校生との差は少なく，SideとCenter とのポジションによる差はみられないが，G・K, Top, Center と差は大きく，ポジション別がうかがえる。

腸骨稜幅についてみると，Top, Center, Side は一般高校生よりも低値を禁し，腸骨稜幅はむしろせまい傾向がうかがえる。しかし，G・K, 45°Side は高値を示し腸骨稜幅は広く，Top, Center, Side との差もはっきりとうかがえる。胸郭幅については，Side と一般高校生徒との差はほとんどみられないが，G・K, Top, Center 45°Side とは差がうかがえ，ことに G・K との差は大きく認められる。

胸郭前後径についてみると，どのポジションとも一般高校生より高いT―スコア値を示すものの Center,

値で Side との間に5％の危険率で有意の差がみられるものの，他のポジションとの間には有意な差があるとは認められない。足首囲では，Side の数値が最小値を示すものの，他のポジションの数値と比較するとそれほど大きな差は認められない。

5　高校選手の皮下脂肪厚の平均値(x)，標準偏差(s)不偏分散推定量(u^2)および平均値の信頼限界（≧m≧，α=0.05）は表5のとおりである。

表5に示すとおり，上腕背部皮脂厚では，Centen の数値がどのポジションよりも低値であり，Top の数値が最も高値であるものの，Side との比較では Center との間では5％の危険率で肩甲下部皮脂厚は，Center の数値有意の差が認められる。が低値であり，Side の数値が高値を示し 45°Side との間に5％の危険率で有意の差が認められる。上腕前部皮脂厚は，G・K の数値がどのポジションよりも高値を示し，Side との比較では G・K，と Centr との間にの危険率で有意の差が認められる。

前腕部皮脂厚は，Center の数値が最低値を示し，

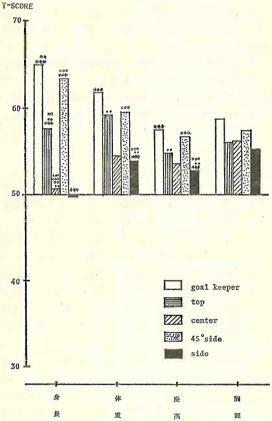



図1　一般高校生女子を基準とした，九州・山口地区高校女子ハンドボール選手の，身長，体重，胸囲，座高の T-SCORE

注：＊，●，□○，△…5％，＊＊，●●，□□，△△…1％，＊＊＊，●●●，□□□，△△△……0.1％の危険率で同一印間に有意な差が認められることを示す。

Side と比較すると1％の危険率で有意の差が認められるものの，他はそれ種の差は認められない。

臍部腹部皮脂厚および腸骨稜部では，Sideの数値が高値であり，Center の数値が最低値を示すもののどのポジションとの間にも有意な差があるとは認められない。大腿前部皮脂厚では，Side が高値を示し，Center の数値が低値を示すものの，ポジションによる有意な差があるとは認められない。

下腿背部皮脂厚は Side の数値が高値を示すものの他のポジションとの間に大きな差はみられない。

考　察

1　一般高校生女子との体格差について

高校女子選手のポジション別体格を一般高校生の女子を基準としたTースコアでみると図1のとおりである。

図1に示すとおり，身長においては，Side と Center は一般高校生とさほどの差は認められないが，G・K，Top, 45°Side の身長は高く，ことに G・K は大型であり種目特性がうかがえるようである。体重では，どのポジションの選手も一般高校生よりも大きく，G・K，Top 45°Sideの体重差はみられないが Side，Center との体重差がうかがえる。座高においても，一般高校生との差がみられ，ポジション別の差は，Side と Center との差はみられないものの，G・K, Top, 45°Side との差がうかがえる。胸囲においては，一般高校生との差は大きくみられるものの，ポジション別の差は少なく，ことに Top，Center，Side の差はきわめて少なく，身長，体重，座高から考えると胸厚型の体格が推測される。

2　一般高校生との幅育差について

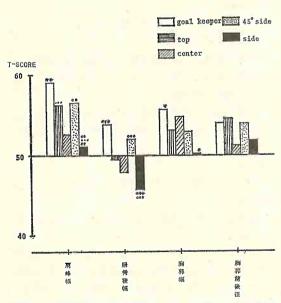



図2　一般高校生女子を基準とした，九州・山口地区高校女子ハンドボール選手のポジション別，幅育の T-SCORE

注：図1に同様

女子ハンドボール競技者の体格，体力および体型に関する研究（上）

第1報　高校女子ハンドボール選手のポジション別形態について

新立義文
（熊本県立教育センター）

沢田芳男
（熊本大学体質医学研究所）

はじめに

球技における競技者の体格，体力はゲームを遂行するうえでは重要な要素であり，これらの要素を高めるため競技の特性を生かしたトレーニング方法やその効果について数多くの研究がなされているものの，思春期後期にある高校女子の競技者，ことにハンドボール競技選手についての報告はきわめて少ない。

そこで，著者らは，前号の報告に引きつづきハンドボール競技選手の形態・機能および体力についてその特性を体質学的に検索した。

今回の報告は，高校女子ハンドボール競技選手（以下高校女子選手と略記する）のポジション別体格，体力についてのものである。

調査期日および対象

1　調査期日は昭和52年3月31日

2　調査対象は九州・山口・沖縄地区の各県を代表するチームの選手159名・ゴールキーパー（G・K）17名，トップ（Top）16名，センター（Center）16名，サイド（45° Side）47名，サイド（Side）63名）である。対照群は同年齢期の熊本県立甲佐高等学校女子生徒155名である。

計測項目

諸計測を大別して次にあげる項目とした。

1　長育：身長，座高。

2　幅育：胞郭幅，胸郭前後径，肩峰幅，腸骨稜幅。

3　周育：胸囲，上腕囲，前腕囲，手首囲，手囲，大腿囲，下腿囲，足首囲。

4　量育：体重，皮下脂肪厚（上腕背部，肩甲下部，上腕前部，前腕部，臍部—腹部—大腿前部，下腿背部—膝窩部—）

計測方法

計測は人体計測法に準拠し実施し，用具は次のものを使用した。

1　長育および幅育の測定は，R.Martin の人体計測器を使用

2　量育のうち体重は，水平式体重計KG100に型を使用し，皮下脂肪厚は労研式皮脂厚計M・K-60型を使用

3　周囲径は，スチール製 White Measure を使用，

成　績

1　高校生女子の体格・体力

15歳から18歳までの，一般高校生女子の体格体力示標は表1のとおりである。

2　高校女子選手の体格

高校女子選手のポジション別，体格の平均値（$\bar{X}$），標準偏差（S），不偏分散推定量（u^2）は表2および平均値の信頼限界（≧=≧，$\alpha=0.05$）のとおりである。表2に示すとおり，G・K, Top, Center, 45°Side, Sideについてみると，身長，体重，胸囲，座高のいずれの数値もSide の数値がどのポジションの数値より低値であり，G・K の数値はどのポジションの数値よりも高値を示しており，Side との比較をみると Center との間には有意な差があると認められないが，他においては，1％から0.1％の危険率で有意の差が認められる。

3　高校女子選手の幅育

高校女子選手のポジション別，幅育の平均値（x），標準偏差（s），不偏分散推定量（u^2），および平均値の信頼限界（≦=≦，$\alpha=0.05$）は表3のとおりである。

表3に示すとおり，肩峰幅，腸骨稜幅，胸郭幅，胸郭前後径についてみると，G・K数値がどのポジションの数値よりも高値であり，Side の数値が最も低値を示しSide との比較では，肩峰幅では Center との間には有意な差があるとは認められないが，他のポジションとは1％から0.1％の危険率で有意の差が認められる。

4　高校女子選手の周育

高校女子選手のポジション別，周育，平均値（x），標準偏差（s），不変分散推定量（u^2），および平均値の信頼限界≧=≦，$\alpha=0.05$）は表4のとおりである。

表4に示すとおり，上腕囲では Top の数値が高値を示しているが最も低値の Side との間にはどのポジションとも有意な差は認められない。前腕囲では，Side と比較すると，Top, Center との間には有意な差があると認められないが G・K と 45° Side の数値が高値を示し Side との間に1％から0.1％の危険率で有意の差が認められる。

手首囲および手囲についてみると，G・K と 45°Side の数値が高い値を示しており Side がどのポジションの数値より低値である。ポジション差は，Side と比較すると Top, Center とには有意な差があるとは認められないが G・K, 45°Side との間には5％，0.1％の危険率で有意の差が認められる。

大腿囲では，G・Kの数値がどのポジションの値により高値を示し，Center の数値が最少値であるものの，Side との有意な差があるとは認められない。また，下腿囲では，45°Side の数値がどのポジションの値より高

各地高校新人戦

郡山女子が勝つ

◇福島県高校新人大会・11月11〜12日・福島体育館

▽男子準々決勝
学法石川 15−7 須高長沼
郡山 27−6 小野
聖光学院 22−14 南会津
安積 23−10 安積商業

▼準決勝
学法石川 17−12 郡山
聖光学院 17−11 安積

▽三位決定戦
郡山 15−8 安積

▼決勝
学法石川 17（11−2、6−4）6 聖光学院

▽女子準々決勝
郡山女子 13−6 平商業
日本女子 4−2 安積商業
須高長沼 9−4 本宮
小高 9−8 福島女子

▼準決勝
郡山女子 13−6 日本女子
須高長沼 24−4 小高

▽三位決定戦
日本女子 10−9 小高

▼決勝
郡山女子 9（4−4、5−4）8 須高長沼
（学法石川は2年ぶり3度目、郡山女子は2年ぶり2度目の優勝）

◇埼玉高校新人戦 11／19・20・23・27

▽男子
決勝トーナメント
川口北 40（19−3、21−2）5 桶川
浦和西 18（9−2、9−3）5 坂戸
浦和市立 17（8−3、9−6）12 浦和南
大宮 17（9−1、8−4）5 春日部
戸田 7（9−3、13−4）7 浦和実
菖蒲 20（7−7、13−5）12 浦和工
和光 22（8−6、14−2）8 埼玉栄
川口工 28（14−5、14−2）7 朝霞

二回戦
川口北 13（9−6、4−6）12 浦和西
浦和市立 17（8−5、9−5）10 大宮
戸田 22（10−3、12−9）12 菖蒲
川口工 15（8−5、7−2）7 和光

準決勝
川口北 11（7−5、4−5）10 浦和市立
川口工 21（9−4、12−5）9 戸田

三位決定戦
戸田 20（12−6、8−8）12 浦和市立

決勝
川口北 15（7−5、8−9）14 川口工
【順位】①川口北②川口工③広田④浦和市立

女子
▽決勝トーナメント・一回戦
行田女 20（7−2、13−2）4 浦和市立
川口女 5（2−1、3−1）3 和光
朝霞 14（7−3、7−4）7 聖望
川口北 不戦勝 熊谷女

準決勝
行田女 8（5−2、3−5）7 川口女
川口北 12（3−1、9−6）7 朝霞

決勝
行田女 8（6−4、2−3）7 川口北

三位決定戦
川口女 14（6−0、8−2）2 朝霞
【順位】①行田女②川口北③川口女④朝霞

◇福井県高校新人戦 11／19・20・21 於・羽水商体育館

▽男子予選リーグ
Aゾーン
羽水 21（9−1、12−2）3 高専
羽水 13（4−4、9−3）7 科技
科技 14（8−3、6−7）10 高専

Bゾーン
北陸 21（8−2、13−2）4 高志
北陸 24（12−2、12−1）3 若狭
高志 17（7−5、10−5）10 若狭

Cゾーン
武生 23（6−4、17−5）9 武生商
武生 12（6−2、6−2）4 藤島
藤島 20（7−2、13−2）4 武生商

決勝トーナメント一回戦
高志 17（9−4、8−6）10 藤島
北陸 20（7−1、13−1）2 科技

準決勝
高志 12（6−4、6−7）11 羽水
北陸 30（17−5、13−3）8 武生

決勝
北陸 30（13−10、17−9）19 高志
【順位】①北陸②高志③武生、羽水（北陸は年連続二度目）

▽女子予選リーグ
藤島 5（2−1、3−4）5 羽水
仁愛 17（9−0、8−0）0 藤島
仁愛 13（6−2、7−1）3 高志
武生商 6（3−2、3−1）3 高志
武生商 13（6−1、7−1）2 羽水
（上位4チームが決勝トーナメントに進出）

決勝トーナメント・準決勝
仁愛 9（5−0、4−2）2 藤島
武生商 5（2−1、3−2）3 羽水

決勝
仁愛 7（3−3、4−3）6 武生商
【順位】①仁愛女子②武生商（仁愛は二年ぶり二度目）

女子浜田商5年連続優勝果す

◇島根県高校新人戦 11／5・6

▽男子・一回戦
松江南 22（7−1、15−7）8 松江農

準決勝
松江工 12（5−6、7−5）11 松江南
飯南 27（13−1、14−2）3 羽須美

三位決定戦
松江南 22（10−2、12−6）8 羽須美

▽決勝
松江工 10（7−5、3−4）9 飯南

▽女子・一回戦
松江商 7（2−2、2−2、2−0、1−0）4 松江農
松江南 16（7−2、9−0）2 江ノ川

松江市女 14（4-1 10-1）2 松江一

準決勝

浜田商 18（13-0 5-2）2 松江商

松江市女 7（5-1 2-1）2 松江南

三位決定戦

松江南 10（7-0 3-1）1 松江商

決勝

浜田商 11（2-1 2-1 4-3 3-4）9 松江市女

天城が男女とも制す

◇岡山高校新人戦

11／12・13（於・天城高）

▽女子・一回戦

真備 10（7-4 3-0）4 操山

津山商 9（4-2 5-3）5 児島

天城 13（8-0 5-2）2 青陵

津山 4（2-2 2-2）4 総社

PT勝ち

倉敷商 14（4-1 10-0）1 金川

芳泉 9（5-1 4-3）4 大安寺

▽同・二回戦

落合 9（6-5 3-2）7 真備

天城 5（1-1 4-1）2 津山商

倉敷商 9（4-1 5-1）2 津山

西大寺 7（3-1 4-0）1 芳泉

▽同・準決勝

天城 14（6-3 8-8）11 落合

西大寺 2（1-1 1-1）2 倉敷商

PT勝ち

▽同・決勝

天城 11（3-3 8-2）5 西大寺

▼男子・一回戦

岡山工 7（2-2 5-1）3 津山

朝日 11（4-1 7-5）6 津山工

天城 15（5-4 10-1）5 高工

倉敷南 11（7-1 4-2）3 金川

西大寺 17（5-3 12-4）7 東岡山工

大安寺 20（13-5 7-2）7 吉備

落合 11（4-6 7-4）10 青陵

成羽 17（8-5 9-4）9 玉野

矢掛 16（10-4 6-3）7 操山

児島 16（3-2 13-1）3 備山

▼二回戦

倉敷商 11（5-3 6-1）4 岡山工

邑久 17（8-2 9-0）2 朝日

天城 18（10-1 8-1）2 倉敷南

倉敷工 14（8-4 6-2）6 西大寺

芳泉 14（5-3 9-2）5 大安寺

成羽 21（13-4 8-3）7 落合

水工 21（9-5 12-5）10 矢掛

総社 12（5-7 5-3）10 児島

▼三回戦

倉敷商 8（5-3 3-0）3 邑久

天城 5（2-3 3-1）4 倉敷工

成羽 13（7-5 6-6）11 芳泉

水工 12（7-2 5-2）4 総社

▼準決勝

天城 11（6-3 5-1）4 倉敷商

成羽 13（7-5 6-6）11 芳泉

▼決勝

天城 15（7-6 8-5）11 成羽

—各地より試合記録を送って下さる各県協会の方々へ—

未掲載分につきましては遅ればせではありますが後日必ず掲載致しますのでご了承下さい。

…………編集委員会

日本リーグ入れ替え戦

男子・三陽商会、女子・東北ムネカタが帰り咲く！

12月17日・18日（於東京重機体育館）

□男子

日新製鋼呉 30（13-4 17-10）14 トヨタ車体

日新製鋼呉 37（22-5 15-7）12 トヨタ車体

□女子

大和銀行 11（7-4 4-5）9 北国銀行

北国銀行 14（7-3 7-3）6 大和銀行

東北ムネカタ 10（5-2 5-4）6 東京重機

東京重機 8（3-4 5-2）6 東北ムネカタ

以上の結果、日新製鋼呉は、残留、三陽商会は三菱レ大竹の公式戦辞退により、自動的にリーグ入りが決定。女子は東北ムネカタ、北国銀行がリーグ入りを果し、東京重機、大和銀行がリーグから退いてしまった。三陽商会、東北ムネカタともに前回よりも更に大きく成長しており、第3回の日本リーグも一段と面白味の増したゲームが予想される。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六〇号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和[illegible]三年一月二十五日印刷 昭和五三年二月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都[illegible]神南一―一―一
電話 代表(467)七〇九七
振替 東京 五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円
(年間購読料三千三百円)